明治三十九年九月十日第三種郵便物認可

京城日報

本紙定價　一部金五錢　一ヶ月金壹圓五十錢
發行兼編輯人　小川三之介
印刷人　泥谷良次郎
京城日報社

京城日報

太平洋會議

秋月左都夫

軍國主義とは英語のミリタリズムの飜譯にして、平たく云へば軍事に過度の重きを置くを國是すと云ふ程のことなるべし。適度は那邊に在りや。此點から極めて明らかならざるものゝ道理なれども、斯かる六かしき詮議は新聞記者や通俗的雜誌記者なぞは時を失ふべきにあらず。唯感じを以て判斷を下すなり。能く云へば直覺的判斷なり。而して必ずしも師團の數。軍艦の噸數を精査したる上の判斷に非す。國民の精神氣風等、所謂無形の元素を主として彼是批評する場合多し。上に述べたる所を湊合したる後、更に分析すればか云ふことになるべし。

軍事に充つる經費の割合の大なること。

苦情なくして之を負擔すること。

戰爭を好むか少くも格別に之を恐れざること。

軍事に費す所の多大なる爲め他の重要なる事は閑却せらるゝの結果を見ること。

是等の條件を完全に具備すれば軍國主義の國なりと判斷することになり居れるが如し。而して三三十年來の日本に此定規を當てに判斷せば如何。吾人は完全に之に當て嵌まるとは認む。然らば日本は軍國主義の國なりやと云に、前記の定義にして正しきものとすれば、然りと答ふるに躊躇せず。但し日本は外國に取りて危險なる國なりとの結論に當然到着すと思ふは誤りなり。歷史的事實を擧げつゝ吾人の所見を述べんと欲す。

古代日本と關係ありし外國は主として朝鮮半島にして、日本兵が半島に上陸せしことも、幾回もありたりと見て誤りなからん。高名なる神功皇后の遠征は、主として國內叛亂の根本を絶つに在り。其夫仲哀天皇は叛民征討の爲東西奔走し玉へり。皇后は天皇が如何に征討に力を盡し玉ふとも、拔本塞源の策を採り玉はずば、飯上の蠅を逐ひ、惡蟲の葉を剪るに同じ。必ず三韓を征服し玉ふべしとの策を獻じ玉ひしかども、天皇は採納し玉はず。適に九州の行在所に崩じ玉へり。皇后は喪を祕して躬ら半島に入り玉ひしが、果せる哉喪の亂は是れにて過みたり。爾來久しく三韓は日本に朝貢を絕たず。名義上多少屬國の關係ありしも、吾人は日本が半島を征服して我版圖に編入したりしことは云はず。朝貢を怠ることあれば輙く催促せし位に止りたり。德川幕府に至りて朝鮮の使は來りしが、それ以上の事はなく、要するに日本は最も近き外國たる朝鮮に對して野心などは露程もなく、兎角出無性、出嫌ひなりしと云ふべきなり。秀吉の朝鮮に於ける行動は實に例外のみ。日本の國民性より見れば偶然の出來事、即ち怪我（アクシデンツ）に過ぎず、若し否らずんば秀吉なしと雖も此の事なかるべからず、家康の威望權力を以てするも、一たび開かれたる端緒を復收むる能はざりし筈なり。然るに此點に付いては家康は少しも慮ることなかりし、雨やみて激流涸れたるの觀あり、例に源なきの水なりしなり、茲に源と云へるは國民性なり、國民の嗜好なり。

凡そ出嫌ひ、付合嫌ひの國民といへば、恐らく日本國民以上のものはなかりしならん。然るに開けたくないと云ふのに、そりや分らぬと云ふ者ぢや。世間付き合もし、除る物はやり、是ら取る物は取なごするが世間と云ふ者ぢや。と臉され叱られ少し終團も見せられて去らばこてしぶく〳〵女闌先遂にて出曾ふ樣な事にし、此方からもそろ〳〵少しづつ出掛ける樣になりたり。以上は寛永の末より安政の初めにかけて、今より七十年程前迄米國のペルリ提督の指揮せる軍艦四隻が、相州浦賀に着づれたる事件の意味を摘みての話なり。

屑屋の籠

英雄談（中）

碌汀生

カーライルは、世界歷史の中より、所謂光明の活泉たるべき英雄十一人を選定し、有名な米國の論文家、講演者及び詩人たるエマーソン（一八〇三—一八八二）は、世界の代表的人物として六人を選び出したが、此の兩者の選擇に於て一致したのはシェークスピアとナポレオンとの二人に過ぎなかつた。又有名な蘇格蘭系の米國富豪アンドリュー・カーネギーは、一九一一年、其の七十四歲の誕生節に際して、米國新聞社代表者の祝賀を受けたが、此の時彼は來賓に激散し、且つ已が選んで世界の二十傑と信ずる所のものを發表した。カーネギーは、鋼鐵事業を以て莫大の富を致し、又其の富を措氣もなく、圖書館及び其他の公益事業に寄附した人である。此の偉人の英雄觀は、周到より甚大の興味を惹いた。されど其の選定方には、彼の製鐵業者たる偉人的立脚點に重きを置いたる傾向があつた。元來英雄の事功其のものは、既に史上に顯然たれども、其の何れを以て、果して世界的英雄なりとすべきかに至つては、固より人々の好尙又は趣味に依つて其の見る處を異にすることを免れない。（中略）者、論文家及び哲學的著作者として名高いフレデリック、ハリソンに求むるに、彼の二十傑選定を以てした。そして之にカーネギーの選んだ二十傑を添へて同文評論を作り、洞く之を英國及び歐洲大陸に於ける約百人の名士に送つて、其の投票を請うた。諸家投票の結果、當選した英雄は、左記の二十人であつた。

（一）シエークスピア（英國詩人として、脚本作者の最大なるもの）二一點
（二）コロンブス（亞米利加の發見者）一六
（三）ユリウスケーザル（羅馬の將軍、經世家、雄辯家及び著作家）一四
（四）グーテンベルヒ（活版印刷術の發明者）一四
（五）ニウトン（近世の天文學及び物理學の開祖）一四
（六）ダンテ（伊太利の詩人）一三
（七）ダーウヰン（進化論ダーウヰン說の提唱者にして、英國の博物學者）一二
（八）スティヴンソン（機關車の完成者）一一
（九）ホメロス（有名な叙事詩イリアッド及びオデイツシイの作者として傳へらるゝ詩聖）九
（一〇）釋迦（佛教の開祖）九
（一一）アリストテレス（希臘哲學者中の最も有名な最も勢力ある人）九
（一二）ミケランジエロ（伊太利の彫刻家、畫家、建築家、及び詩人）九
（一三）フランクリン（米國の外交家著作者にして又電力の發見者）九
（一四）アブラハムリンカン（米國の第十六代大統領）九
（一五）モーゼ（猶太の立法者、猶太國の組織者）八
（一六）ソクラテス（希臘の哲學者）八
（一七）聖パウロ（基督教の大使徒）八
（一八）ワット（英國の機械師、蒸氣機關の發明家及び土木技師）八
（一九）孔子（支那の哲學者）七
（二〇）カロロ大帝（フランクの大王及び羅馬の皇帝）七
（二一）ルーテル（獨逸の宗教改革家及び聖書の飜譯者）七
（註）カロロ大帝とルーテルとは同點數であつた

朝鮮の古舞樂に就て（下）

故に我が宮中の雅樂は眞の雅樂とは云へず、李王家のものこそ先づ眞の雅樂なり。雅樂に附隨する舞には文の舞と武の舞の二種あり、文の舞は節を持ち武の舞は劔を持ちて共に多數なりて舞ふなり。……の儀式の折に用ふ……昔日本の宮中の雅……しものにて俗樂とはいへ……所謂民間の音樂には非ず民間の音樂は此の李王家の俗樂の變化せしものにして即ち妓生の音樂及び各地方々の音樂なりされば李王家の俗樂は妓生とは密接の關係あるものにして、その舞も昔は

雅樂の舞

と同じく男子の舞ひしものなるが、此頃君の時より女子の舞人を入れ遂に女子の舞と變化せり。これが變じて妓生を出だせしなり。されば妓生は今日日本人が考へる程度のものには非ず妓生在つて擧された藝術を修め、日本人は之を內土の藝妓と同一視して漸次に妓生の地位を貶さしめしは遺憾なりしも、有識者は終つて蓄音器にて李王家雅樂の歌謠と我が宮中雅樂とを演奏し、後更に活動寫眞をもつて李王家雅樂用の各種樂器を始め文の舞武の舞、文廟登歌樂と軒架樂及其の文舞武舞、舊軍樂並に妓生演出の舞山香、劍舞、僧舞、春鶯舞、四鼓舞等を映して兩面より朝鮮の古舞樂を紹介されたるは誠に興味ある催しなりき。（完）

六十一

奥野他見男

小田原から電車に乘換へた。彼女は別れ際に『乾度お近い裡に』と云つた。己れは熱海へ行つても再びお宅に泊ることは無いでせう？』と答へた。

『どうして其樣悲しい事を仰言るんです？』

『波子さんが何處かへ緣附いたこ聽いたら泊りませう』

『何うして其樣事を仰言るんでせう？』

『まだ舊式な頭腦の人の多い間は……』

『私し獨力にもお氣の毒で』

こ、萬事を知つてるおくらさんは二人の美しき生命の爲めに眼を閉つた。

『左樣なら』

『左樣なら』

己れはヂット彼女を見送つた。彼女も窓から見送つた。何こなく此の別れが此の世に於る彼女この最後の頁の樣に思はれて仕方がなかつた。

車輪に敎へられた道を行くこ、僞にザッザッこ波の音が聽こねる。目的ての旅館箋生館へ入つて行つて、

『瀨山邦子さんと云ふ方がゐますか』

と訊ねると、

『ゐらつしやいます。どうぞ』

こ、直ぐ案內して異れた。庭は砂こ小松で美しかつた。海岸の宿こ云ふ感じが犇々迫つた。

『瀨山さんお客樣ですね』

『ハイ』

こ、部室の中に聲がしたかこ思ふこ、俄に狼狽へが見れた。誰か外に人の氣配だ。而も男の氣配だ。己れは明けていゝやら惡いやらで躊躇してゐるこ、

『まア』

こ、云ひながら女が出て來た。

『オヤ誰方かと思ふたら、まア何卒』

『お邪魔しても宜しゆ御座いますか、どなたか』

『いゝわ構ひません』

とは云ふもの、何だか氣の進まぬ風だ。

『入つてもいゝんですか』

『わ、宜しゆ御座いますとも』

『それでは』

こ、部室へ足を入れた。菓子鉢やらお茶碗が机の上に亂れてゐる。目は何處へ行つたんだらう。

『誰方か來てゐらしたんぢや無いですか』

『わ、姉の……』

『姉さんの？』

『お友達です』

『お友達？』

『お友達こ申ていゝか何こ云つていゝか、姉さんが來てゐるこ思ふてゐらした所が私丈けだつたんです？』

『それで？』

こ、己れも物事は試み場合には側迄突き込んで聞きたがりだから耳を立てた。

『私こも極知り合だから、それで泊つてゐらつしやるんです』

『御一緒に？』

『い、わお隣の部室に』

『フーム、ぢや此處にゐらしても好かつたんぢやありませんか』

『そりや左樣ですけど……先達ては。失禮致しまして』

こ改めて挨拶しながら『奥樣は其の後お變りも御座いませんか』

こ。奥樣はこ云ふ聲が何故か殊更大きかつた。己れは悟る所があつたものだから上手いナこ思ひすがら、

『わ、相變らず、今日は妻の代理で來ました、何處かお惡いんです？』

『少し胸の病らしく思はれたので、』

こ、何こなく吃る氣味があつたので、これ以上追窮しなかつた。

面白いお話　美しい繪
小學少年
九月號　夏休み中を面白く過させる少年雜誌
小學生の良友
西洋おはなし　ガーフイルドの話　ロシア童話　幼年理科の話　面白い童話　カタカナ少年讀本　九段の大鳥居　えんぴつ手本　幼年ほんち　遊戲　進行　龍宮參り
研究社

夏休の樂しいお友達
小學少女
九月號　美しい少女繪
小學女生の友
くろんぼの姫　男しい少女　薫陌白い鳥の森　お月樣の話　化さくゆふべ　幼女ほんち　面白い童謠　えんぴつ手本　カタカナ少女讀本　遊戲　進行　六色　定價二十五錢
東京九段　研究社

新案の特許
宮武テント
天幕日覆雨覆製造販賣
大阪市北區南安治川二
宮武テント商行
電話長五五　一九五六

貸取引
殖産工場
大阪難波

最新刊
文藝復興　二、七〇
トストイエフスキ研究　二、九〇
現代萬歌集　二、五〇
或る心の記錄　こがね　一、六〇
こがねの星　一、四〇
日本人の祖先　一、六〇
近世數奇傳　二、二〇
大阪屋號

乘用自動車
ピアスアロー
ハドソン
エセツクス
ミツチエル
ダッヂブラザー
フイアツト
デムラー
ミルヴアン
日本總代理店
日本自動車株式會社京城出張所

急告
一、當工作部技術員は今回東京本店より撰拔の上派遣相成り本月二十日迄に到着可仕候間右御報知申上候也
一、從來ダンロプタイヤを豐富に在庫致し發送敏速價格低廉を以て御注文に應じ居り候處近時各地到る處益々好評を博し日増に業務盛大に趨候段全く御顧客の御愛顧の賜と深謝候就ては今後吾自動車界の發展の爲益々勉強仕り需に應ずる覺悟に御座候間多少に關はらず陸續御用命を蒙り度此段奉懇願候

創立明治卅五年
本店　東京赤坂
大阪支店
横濱出張所
名古屋出張所
京都出張所
神戸出張所
京城出張所
福岡出張所
仙臺出張所
廣島代理店
新潟代理店
中野工場
溜池工場
大森工場
名古屋工場
大阪工場

陸軍志願募集
陸軍進級規則が改正されて誰でも將校に進める（以下略）
東京赤坂近衞步兵三聯隊前
陸軍豫備講習會

自動車改造修理
諸機械製作
和田鐵工所
京城岡崎町五番地電話取次京城一〇一番
前東京瓦電自働部技工長
主任　川端忠四郎

人に誤魔化されぬ
日常百般
證文の書方
必備の寶典
三光社
東京麴町飯田町二ノ六六　振替東京四〇四五三

財團法人工業教育會
東京工學校
工學講習錄
豫科・電氣科・機械科・建築科・土木科
自下入學の絕好期!!
東京神田三崎町

舶來人形印ミルク
白「黑さん、心配するな、僕んところの坊ちゃんのおあまりを君にも貰つてやるよ」
最中の發發と衞生に缺くべからざる舶來人形印ミルク
全國到る處の藥店食品店にあり

丸善インキ
ロンドン・インキ・セザニス・インキ
セチンユリー・インキ
萬年筆用
アテナ・インキ・オリオン・インキ

東京市日本橋通
丸善株式會社
大阪　京都　神田　横濱　福岡　仙臺

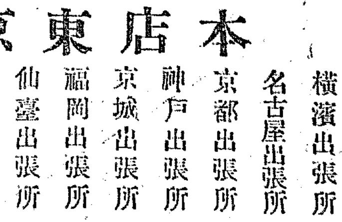
懸賞金拾萬圓
著者　本會長　永島千代吉
利殖法講義錄
利殖歲額金貳億圓
資料　日本政府庫支拂
一定不變
事業發展　講義完成
會員大募集　本月卅日迄限り入會金特免
利殖研究實行同盟會
東京麴町

女中　至急入用　京城南大門驛前　笑屋旅館
讓店　小資金で出來る
商店　向き貸家を求む
女中　及飯人給仕入用
金融
中古　ミシン高價に買ふ
讓店
店員
貸間
採用
ほね　つぎ
ほね　つぎ

京日案內

白神洋行

洋鐵鋼、諸機械
金物商



柴田靴店

太平洋會議に米大統領

國際聯合提唱乎

各國共加入せん

【紐育電報】米國大統領ハーヂング氏が今回の太平洋會議提唱の一面此機に國際聯合案を提出すべきは希望のことなるが國際聯盟は全廢され國際聯合に各國とも加入するならん

米墨兩大統領

個人的書面を交換

【墨西哥六日發電】大統領ハーヂング氏は墨西哥大統領オブレゴン將軍との間に個人的書面を交換せるが墨西哥に對する亞米利加の意思は何等變更を來し居らずと

愛蘭伏線的交涉

【倫敦六日發電】愛蘭假大統領デヴアレラ氏とウルスター首相グローブ氏の副官は本日の會見に於てシユ・フエン黨とウルスターとの間の交涉に伏線を敷き居れる事を報告したり

露國飢饉惡疫苦にしむ

【東京電報】莫斯科來電の頻りに報ずる露國飢饉惡疫流行等は熊ね實の如く旱魃又之に加はり農產物の收穫全く減少あると共にウクライナ地方の一部の農產物を以て之を救助せんも僅に一億五千萬人を救ひ得べしと雖も到底其の急を救ふ能はず人民は續々南方地方に向け移住しつゝあり之に伴ひ軍の動搖止むなく政府は時局の救濟に困難を來し今は外國の救濟を乞ふの外已むなきに至れりと

カツペリー軍進出す

齊多脅かさる

【浦鹽八日發電】確報によればイルクーツクの北方に久しく蟠居したるカツペリー軍の騎兵隊は最近活動を開始し南下バイカル湖畔のクルツケキを占領後東進してスリヤチヤンカ驛附近にて齊多政府軍を擊破し更に長驅してムイソワヤウエルクーイズンスクを占領し齊多を脅威しつゝありと云ふ

湖北省民避難す

【漢口七日發電】湖北督軍王占元氏は六日附北京政府に對し時局に關する電報を發し更に午前十時より文武高等官連を召集して會議を開き午後に至るも散會せず省民は租界内に避難するもの夥し

支那エクアトル通商締約

【北京六日發電】南米エクアドル在留支那人の請願により曩に支那政府は同國政府に向つて通商開始交涉中なりしが本日同國より回電ありしを以て不日兩國間に條約締結さるゝに至るべし

張勳氏擧用されん

【北京七日發電】張勳氏擧用の說最近有力となり來れるが這は形勢急なるに對し張作霖氏一部の奉天軍と安徽軍の舊部隊を加へて南下出動し張勳氏を長江巡閱使に任命し之れが指揮に當らしめんと云ふに王占元氏安徽の張文元氏贊成し來れりと王占元氏の失敗と共に湖北に於ける直隸派の勢力に對し將來の權衡を保持め張作霖氏が極力持支するにあらば或は實現に至るやもはかられず

漢口外人の自衛協議

【北京八日發電】湖北の戰亂に對し漢口英國領事は租界地が砲擊を受くるに至りたれ自衛の策をとる必要上漢川領事に長江警備の司令官會議を提議し米佛領事も提議を受けたり

濟南の形勢不穩

【上海八日發電】聞く所によれば近來市場には民黨一派と安福派の一味が盛に入り込み救那軍の不在に乘じ津浦附近の土匪を糾合し形勢不穩なり且曩に湖北督軍王占元氏によりて解決され山東に歸りたる一部の軍人が王占元氏含みて之に加擔せんとする模樣にて之がため五日濟南兗州に戒嚴令敷かれたり

東支鐵道社債發行

【東京電報】東支鐵道社債發行交涉其他にて來朝中なりし露亞銀行哈爾賓支店ルブイア氏は上海同銀行支配人の急電に接し八日神戶より乘船上海に向へり同氏は上海にて社債の件を決する筈なりと

夏季衛生宣傳

平澤署の努力

【平澤】平澤地方に於ては近來[illegible]不熟の果實を食せざる事三、特に生水は沸煮して飲用する事四、宅地家屋の内外を清潔にする事五、[illegible]住民に洩れなく宣傳せり

清津港の水揚高

【清津】七月中の清津魚市場の水揚高は二萬四千七百八十六圓[illegible]

波斯丸大連出帆

【大連】大連汽船株式會社の取扱ひに係る東洋汽船會社のペルシヤ丸は七日出帆の[illegible]

水道問題答禮

【仁川】[illegible]水道移管問題の解決[illegible]日午前九時十五分發急行にて出京總督府其他の水道移管問題に關し答禮せり[illegible]

代用官舍落成す

[illegible]落成したるを以て郵便、水道の[illegible]工事出來次第直に引越す事となる[illegible]

官財務理會移管

【安東縣】[illegible]は獨立したる[illegible]

連絡船乘客

○五日夜釜山丸上陸客(一等)[illegible]
○六日夜入港すべき[illegible]

青島鹽田殆ど全滅

【青島八日發電】兩三日來の暴風雨のため膠洲灣一帶の鹽田損害甚だしく日支合辦の鹽田は堤防破壞し地床の海潮に洗はれざるもの殆どなく或るものは貯藏鹽を流失して約四十萬圓の損害を蒙れり

特務艦吳を發航

甘露寺伯を乘せて

【吳電報】東宮御出迎へとして派遣されたる甘露寺伯は八日午前八時二十九分吳驛着列車にて來吳し此丸鎭守府副官出迎へ次で水交社に入少憩の後特務艦室戶に乘艦同艦は九日朝出港嚢灣方面に向け御召艦香取供奉艦鹿島を迎へる筈

辭令(八日附)

【東京電報】八日左の如く發表ありたり

領事 藤村恒藏
任總領事(四等)

大使館三等書記官 越田佐一郎
佛國巴里に於て開催の第六同萬國學術總會帝國委員を仰付らる

海軍大將男爵 島村速雄
特命檢閱使仰付けらる

三井物產社長逝去

【東京電報】三井物產株式會社長三井養之助氏(六十二)は昨夜(七日夜)十二時大磯の別邸にて逝去胸溢血を起し直ちに逝去したるより本邸の狼狽一方ならず本邸にては直に自働車を以て遺骸を連れ歸る事になり

續報【東京電報】大磯の別邸にて突然逝去したる三井物產社長の遺骸は八日午後五時二十分自動車にて夫人エイ子、嗣子辨藏氏をはじめ同族に守られて麻布木村町の自邸に著し奥の十五疊の日本室に橫臥せしめ家族をはじめ同族三井物產株式會社重役にて内々通夜せり之を聞きつけて參邸する弔問客多く葬は九日午後發表する筈なりと

豫算查定開始

【東京電報】大正十一年度豫算は九月初めより查定を開始せらるべく槪算書は同月末を以て出來の豫定なりと

朝鮮の現狀は極めて平靜である

反對說は執るに足らず

近時朝鮮統治上に關し種々の批評を試むるもの少からず、甚だしきは鮮内の治安未だ全く行屆かず内地人の旅行不安なるが如く傳ふる者さへあるも、斯は鮮内の事情に通ぜざる者か然らずんば殊更に統治上に對し惡聲を放つものにして毫も執るに足らず、試みに各地方を旅行し仔細に地方の状況を觀察せば各地方共如何に平穩なるかを知るを得べし、尤も地方に依りては鮮人の掠奪其他の事故なきにあらざれども斯は獨り朝鮮内のみならず

內地に於ても

殺人强盜其他の事故續々として發生し却て朝鮮内よりも事故多きは何人も認むる處なるべし、現に神戶に於ては勞働爭議發生し、警察の手にては沈靜する能はず軍隊の力を藉りたるにあらずや、若し朝鮮内に斯る事件發生したりとせんか、世人は口を極めて朝鮮統治の失敗を攻擊し、朝鮮の警察はあれども無きが如しと言ふに至るべし、幸ひに内地に於ては神戶に於ける勞働爭議に對しても格別治安の行屆かざるを攻擊する者なきも地位を顚倒して朝鮮内に斯る問題起りたりとせば朝鮮の秩序全く破壞されたるが如く傳ふるやも知れず世豈に

斯る不條理

のことあらんや。朝鮮目下の現狀は云ふ迄もなく極めて平靜にして統治上格別變ふべきこともなく鮮民亦何れも文化政治の恩惠を感謝し偶統治上に對し不平を洩らし者なきにあらざるも斯は內地に於ても政府の施政に對し常に批難攻擊すると同樣にして是を以て直に文化政治に對し種々の惡評を試むるは、甚だ早計と云ふべし、如何なる政治に於ても多少の不平は到底免れざる處にして、一村、一郡に於てすら當事者に對し、種々の不平あり。甚だしきは一家に於てすら、風波絕へざるもの少からず、況んや一千七百萬の同胞中統治上に對して多少の不平あるは、到底免れざる處にして

何人が局に

當るも絕對に不平の聲を聞かざることは絕對にあり得べからず。是等の事情を辨べず、徒らに朝鮮統治上に對し、種々の惡評を試むるは、所謂攻擊せんが爲めの攻擊にして、何等の價値なしと云はざる可からず、現に文化政治實施以來未だ曾て暴徒起らず鮮民又甚だしき不平を言はざるは何よりの證據にあらずや、而も殊更に統治上に對して種々の惡評を試むる者あるは甚だ遺憾なりと云ふべし

知事送別會

【木浦特電】亥角知事深川府尹の送別會は十一日公會堂にて開催の筈なり尙兩氏共十五日赴任す

東洋大學分校設立に就て

佛教儒教再興の爲め

三輪、鼎兩幹事語る

東洋大學幹事三輪政一同鼎義暁兩氏を朝鮮ホテルに訪へば兩氏交々語つて曰く自分等今回の渡鮮は東洋大學の分校を當地に設立したいと云ふ希望を以て總督府並地方有力者に下相談を致さんが爲で既に總督府當局にも十分の了解を得たからこれより夫々有力者に計る考へである其目的は東洋共道の二大思想たる

佛教儒教

の心髓を朝鮮青年に授植せんが爲で此二敎は人も知る日本よりも朝鮮の方が早くから發達し此二大思想に發はれて既に深い根ざしがあるのであるに然るに佛教の方は李朝の抑壓を蒙つて其發達を中斷され儒教の方も其後思はしい現代的發達を見ないので自分等同志は此事を甚だ遺憾に思ひ此際是非共大切な此二敎を朝鮮に再興せしめ一段と進めて日鮮相互の思想的一致を堅くし

文化の共通

發達を圖らんが爲である敎授科目としては獨り儒佛に止まらず西洋哲學其他本校で課する科目は大槪敎授する考へである殊に本校には朝鮮學生が現在六十餘名在校し卒業生中にも既に錚々たる人あれば敎授講師も出來る丈け此邊に物色して相互の學究に便ならしむる考へである而して學校の特色として純粹の私立大學で少しも官學的臭味を加へないそこで勿論

設立其他に

就ては總督府の御厄介になるけれ共其維持經營等に就てはドコまでも御厄介を掛けず獨立して全く自由の發達を遂げる覺悟である設立地は京城若くは其附近を選びたいと思つて居る然しそれ等具體的の事は未だ何等の建案もない何れ此下相談が纏つた上で總ての豫算を立つる考へであるから早くも茲一兩年後でなければ授業開始の運びにはなるまいと考へて居る云々

咸南地方狀況

水口稅務課長談

總督府稅務課長水口隆三氏は咸鏡南道府郡財務主任會議列席の爲め咸興へ出張中六日夜歸任せるが其談片に曰く

咸興を中心とせる平野は廣袤實に二十八平方里に及び朝鮮三大平野の一であるが惜むらくば水利の便なく其の五分の一に當る四萬町步が水田であつて他は悉く畑地である城川江の水を引いて此の大平野は灌漑の道を開くならば最も有望の地であるが此の城川江が漸く容易に此平野に水を與ふるの施設を行ひ難いのであるこれも一に森林の關係であつて茲にも總ての行政が造林事業を使つ事の甚だ必要なる所以を知る事が出來るのである然し大資本を投じたならば必ずや絕好の耕地となる事は疑ひなき事であつて資本家の正に着目すべき地である

近時農民の

間にも水田の甚だ有望なる事を認め極く小規模に畑を水田に變更する者が多く然も之等が用水の設備なく所在用水の爭を惹起し郡守も此の調停には甚だ困難を感じて居る樣である慨して咸南北の地たる者より生活に豐に農民の大部は中農であつて然も交通不便の爲め現代の惡風潮に染まず住民は甚だ善良であるが故に一般に生産に競ぶ起らず産業の發達は見るべきものなく悠々たるものである然し近來

鐵道開通等

の爲め漸次將來は土地の衆併も行はれ新社會の夢に醉ふて居る同地方も之と共に生存の競爭を起し一方には産業も發達する事となるであらう納稅成績は全鮮第一で地稅等は古くから必ず所定のものを納付すべきものと云ふ感念を持て居るので何等問題の無い所である

爲替貯金狀況

京城局に於ける

京城郵便局に於る七月中の爲替貯金受拂狀況を聞くに其受入は內國爲替十六萬六百六十九圓外國爲替三千四百七十九圓郵便貯金四萬七千八百五十四圓振替貯金三十六萬一千二百四十二圓通信官署歲入二十一萬六千二百三十二圓府公金受九千百十一圓此總額七十九萬八千五百八十七圓に上り之を昨年同期の七十二萬五千八百六十三圓に對比すれば七萬二千七百二十四圓を增し又其拂渡に於ては內國爲替三十五萬九千七百十圓外國爲替一千七百九十八圓

郵信貯金

四萬七千三百三十五圓振替貯金二百二十萬一千五百八十一圓通信官署歲出七萬五千三百九十六圓此總額二百六十八萬五千八百二十圓を算し之を昨年同期の二百七十八萬九千七百九十六圓に比すれば十萬三千九百七十六圓を減じたり以上の外運轉爲替資金等の出納額を加算せば昨年七月分七百六十七萬五千六百七十九圓本年七月分七百三十九萬三千二百三十六圓にして通計二十八萬二千四百四十三圓を減少せり

驛屯土賣拂槪況(一)

大正九年度に於ける

從來總督府が特別處分令及同施行規則に依り管理し來りつゝありし驛屯土は借受人近時の經濟事情及農事改良進步に對する努力方等に鑑み之れを賣拂ふことは多數の自作農民を育成して健民階級の堅實なる發達を策することを得るのみならず此の賣拂に依りて得たる國庫收入を以て富を增進するに必要なる諸般の事業を施設することは所謂一擧兩得の實を擧げ得べしと信じ

有料貸付

の驛屯土は多少の留保地を除き大體に於て現在貸付の面積を其の儘現借受人に賣拂ふことに決定し大正九年度に於て之が實施を見るに至れり今同年度中に於ける賣拂處分の槪況を見るに左の如し

一、處分に關する規則の制定 驛屯土の賣拂を爲すに方りては借受人の負擔を輕減し且轉賣を防止し得る方法を選擇するの必要あるのみならず借受人をして土地に對する愛著心を强からしめ不知不識の間に堅實なる自作農民たらしむる趣旨、方法の下に大正九年八月十三日府令第百十號を以て驛屯土賣拂處分に關する件を制定發布し且之と同時に驛屯土特別處分令施行規則中賣拂處分に關聯せる事項の改正を行ふたり

一、賣拂の趣旨及方法の周知 驛屯土賣拂の趣旨及方法は普く之を周知徹底せしむるの要あるを以て賣拂趣意書の配付を爲すの外總督府にては京城に各道の主任官を各道に在りては當該道廳に府尹、郡守又は島司若は財務主任書記を招集して周知上遺漏なきを期するは勿論各府郡島に在りては面長若は面吏員を府、郡島廳に招集し或は府尹、郡守、島司若は財務主任等其地方に於ける有識者及び借受人等を便宜の場所に集合せしめ以て賣拂處分に關する懇篤なる說明を與へ之が周知を爲し徹底に努めたり

一、賣拂價格の決定 賣拂價格は自作農育成の趣旨に鑑み世間の所謂時價に依らず各地目每に標準地を選定し其土地の大正四年より大正八年に至る五箇年の平均收益を調査し之を土地投資に對する普通の利廻步合と認むべき六分以上の率を以て還元したる額を其の土地の時價と推定し之れに基き各土地の一反步當平均價格を決定したり今其の一反步當平均價格を示せば田(畑地)二十二圓、畓(水田)七十二圓、垈(宅地)八十五圓に當る

北米だより

飯塚喜四郎

記者足下

私が朝鮮を出發して以來既に一ケ年餘りになります、實は何か通信したいといつも思つて居つたのでございますが、生來の筆不精と多忙を極めた學生々活に追はれて、遂に何も申上げる事が出來なかつた事を遺憾に存じます。

今日は何か少しばかり頭に浮ぶまゝを書き連ねて見ようと存じます。

先づ第一に米國の學生々活に就て少しばかり申し上げませう米國の學生は日本の學生に比べると實に愉快な學生々活を送つて居る樣に思はれます、第一小學校から中學へ、中學からカレツヂへ及びカレツヂから大學へ、と云ふ樣に、上級の學校へ入る時其所に入學試驗と云ふものがないのですから、それ丈けでもいくら樂だか知れません。日本の樣に十か十一位の小學校の生徒迄が、入學試驗でいじらしくも小さい胸をいためて居る樣な事はありません、これは敎育の設備が充分であつて、入學希望者を殆ど全部收容する事が出來るからだと存じます。

それから學校へ入つてからの敎育の狀況及び學生の勉强の狀況はどうかと云ふと、これも日本の學生に比べて餘程樂な樣に思はれます、それは第一に敎育法が發達して居るからでせう、例へば動物或は植物の敎授をするとしますと大抵は實物を示し若し實物が容易に得難い時は少くとも標本を示して實地に敎育すると云ふ風にしますから、學生は容易に頭の中へ深く覺え込む事が出來ます。

日本の樣に徒に不完全な設備で抽象的に敎へ込まれるのに比べると其所に記憶し或は理解すると云ふ點に於て非常な差が出來るだらうと存じます。

それは一つにはアメリカは金のある國で其の設備が充分に出來る事に由るのでせうが、唯にそればかりでもない樣にも思はれます、例へば私の方の科學の講義なぞに於きましても實に行き届いた方法で、或は實驗に或は標本に、或は實地に觸れ頭に入れずには置かないと云ふ樣な敎育をいたします、そして私が日本で受けた樣な所謂机上の空論が非常に少うございます。これは唯に設備の不完全の爲めばかりでなく、或は日本の先生達は實は講義する先生自身も其の實際を知らずして、自分の頭の中に消化してからでは無く、全く外國の飜譯を自分でしませんでせうかと思はれます、この邊は今後の日本の敎育者には大に考へて貰はねばならぬ事ではあるまいかと思ひます。

要するにアメリカの學生は割合に樂に、而も實用的に學問する事が出來ると云ふ事は事實でせう、その爲めに日本の學生程試驗の爲めの所謂試驗勉强、即ち矢鱈に棒暗記に苦しむと云ふ事が餘程少い樣に思はれます、其の結果は學生が快活になり、充分の運動も出來ると云ふ事になつて參ります。

米國學生の運動熱と來たら大したものでございます。野球に庭球にフツトボール、水泳、さてはボートと云ふ樣にそれは實に盛なものです、これも私は唯に其の運動設備が完全であると云ふばかりでなく、敎育法の宜しきを得て居る結果が與つて力ある事だと思ひます。

運動の中で野球とフツトボールとは米國運動界の二大立物でせう、そして野球とフツトボールとには各其のシーズンがあつて、野球は三月初めから六月學年の終り迄、フツトボールは九月新學年の初まりから十一月のサンクスギビングが終りとなつて居ます、そして其のシーズン間は大學の運動場では毎日練習や小試合があり、又毎土曜日の午後には必ず對校試合がありまして、何萬と云ふ見物人が入り[illegible]し、見物人の乘つて來た自働車が運動場の附近に何萬と云ふ程を爲して置かれると云ふ事は[illegible]ものでなければ見られない[illegible]出來ますまいと存じます。

私は去て當ペンシルバニヤ大學に於ける日本人學生の狀況を少しばかり申し上げて擱筆いたします。

當大學には學生凡そ一萬一千餘人、其の內日本人學生が十九人[illegible]度は十九名でございまして、此[illegible]居る事は實に[illegible]內に一人の不良學生も居りません[illegible]學生會が組織されまして、お[illegible]に親睦の交換と親睦とを計つて居ります(大正十年七月、北米ペンシルベニヤ大學商科大學にて)

全鮮郵便貯金

朝鮮內郵便貯金最近の趨勢は四月以來約一割五分と云ふ高率の增進步合を示し八月に入りて總額一千九百萬圓に達したれば近く二千萬圓を突破すべしと云ふ因に內地の郵便貯金利子は四分八厘なるも朝鮮は五分四毛なるを以て朝鮮貯金者に取りては頗る有利なる條件なれば一般に銀行利子の引下げられつゝある今日なれば今後益々著しき增加を見るべき趨勢なりと云ふ

電話加入者數

京城局管內

大正十年七月末現在京城郵便局管內各局電話加入者數は左の如くにして※印は七月末現在△印は本年度增設豫定數なり

▲京城入三千七百七十一△四百三十▲龍山×六百二十一△百十九▲仁川×七百二十三△三▲群山×三百七十五△五十五▲清州×九十六△十一▲江景×八十三△七▲金州×百九十一△三三▲水原×百三十八△五▲春川×八三△五▲公州×九十六△三▲木浦×百四十九△五▲開城×九十七△三▲永登浦×四十五△二▲鳥致院×六十一△十六▲大田×二百△四十七▲恩州七十一▲論山四十八▲天安八十八▲非巴六十五▲金堤七十六なり

當本年度電話新規設及加入者數は左の如し

局部長會議

九日午前十時より總督府第一會議室に定例局部長會議を開き齋藤總督水野政務總監以下各局部長出席諸般政務に就き協議せり

施政宣傳講習會

京畿道は八月中旬より水原郡外六郡に對し第二回施政宣傳講演會並に活動寫眞の映寫を爲すべしと

關野博士講演

京城中學校に於て開催中なる小學校敎員講習會は十一日を以て終了の筈なるが同日午前八時より關野博士の講演終つて水野政務總監の訓示ある筈なり

廣島縣視察團

廣島縣敎育會主催鮮滿學事視察團一行は十三日朝安東より入城同日仁川に往復し同夜發內地に向ふべし

太平洋會議と日本

如何に處すべきか

山縣五十雄

米國政府が軍備制限及び太平洋問題を議する爲めに關係列國の會議を開催するの提議をしたについて其動機と目的の何たるやは暫く之を措き、我國はこれに出席することゝなつた以上は此會議の結果を成るべく我國に有利のものたらしむべく努力しなければならぬは勿論である。然かするには何より先に我國が軍國主義でなく、世界が我に對して抱きつゝある疑惑の根據なく、其殆ど總てが誤解と無知とに基くことを飽迄說明し、諒解することが必要である。若し我國がよく之を爲し得て、我國の支那及び西伯利に於ける政策が侵略主義に出でたるに非ず自衛上の爲めなりし事・我現在有する所の陸海軍は從來の世界の形勢に鑑み國防上必要なる最少限度のものであつた事を世界に諒解せしめ・軍國主義の疑ひから我國を放すことを得るならば華盛頓會議は我國にとり我國際上の位置を安全强固ならしむる空前の好機會である、然か觀察すれば我々は何等悲觀すべき理由は無い

然しながら如何に我々が口に筆に我國の侵略的ならざる事を說明するも我國が事實上軍國主義の嫌ひある行動を續けるならば千萬言の辯解も世界をして首肯せしむる事は出來ぬ。我國は此際事實に於て侵略主義でない事を證明せねばならぬ、それをするには速かに西伯利よりの撤兵と山東の還附を斷行するなども其中の事であらう

一體ヴエルサイユの講和條約が締結され世界の形勢が激變したに鑑み、我國は疾に此新形勢に相應するの政策を執らねばならなかつたのである。然るに之を爲さざるのみか、當初の目標たりし露獨が軍國として消滅し、存在の理由を失ひたる日英同盟に戀々として、恰も痴愚なる男が情の冷卻したる女に再緣を迫るが如き態度を示したるが故に、我國は世界疑惑の的となつたのである。我當局者は太平洋會議に臨むに當り大に此點に注意せねばならぬ

滋賀縣視察團

滋賀縣敎育會主催學事視察團一行約三十五名は左記日程に依り京畿道管內に於ける學事狀況を視察すべしと

▲八月二十二日午後十時四十分京城着▲八月二十三日京城滯在▲八月二十四日仁川視察後午後十一時平壤へ向ふ

クライスト號より

(記者曰く、この書信は總督府內務局長大塚常三郎氏より本社長へ寄せられたるもの)

拜啓愈御淸穆奉賀候陳者先日は御鄭重なる送別の宴御催し被下席上多數の名士に御紹介被下御芳志深謝仕り候當夜の座談山狼に等しき小子には幾多の敎訓と相成、殊に伊集院大使が加藤海軍大學校長の御話しの如き宇內の大勢を達觀せる名論とも承り、今回の旅行に先だち得難き贐を得誠に仕合に存じ申し候、京城へ御出發の期を承知せざりし爲拜趨の機を逸し候段御容赦被下度候。郵便遲れ候爲・去月三十一日に至り東京を發し、一日伊勢大廟に參拜、二日桃山御陵參詣、三日和歌山に藩知親戚を訪れ四日神戶にてクライスト號の客と爲り申候

『クライスト』號は一等旅客九十餘名を乘せ居り候、其中十二三名の外人を除き他は日本人にて多くは何れも西歐に赴くものに御座候、船中[illegible]渡歐せし經驗を有する客少からず當時否數年前迄日本人たる乘客極めて少數にて船中片身狹き思をなしたるに比し、今日船室の大部分を日本人にて占有するの狀況に至りたる亦國力擴張の象徵とも見得べく快心に堪へざる狀況に有之候

同船の客中澤柳博士、木內重四郎氏、渡邊勝三郎氏、矢作博士、小西博士等の名士あり澤柳博士は小西博士、下村文部省書記官、伊藤文部省書記官及長田廣島高師敎授と共に歐洲敎育の視察に赴かるゝ由にて、幸ひに之等の名士と食卓を同ふするを得たるは小生の幸福に有之候食卓に列するもの九人何れも帝大の出身にて宛然學士會の觀有之、加ふるに澤柳博士は小生の一高に入りし當時の校長、木內氏は官吏生活の初期に於て懇切なる指導を受けし先輩、矢作博士は私交ありし人、渡邊氏、小西博士何れも舊知の人にて卓上遠慮なき談論百出し退屈する處少からず、マルセーユ迄の船中收獲頗る多かるべきを想見して愉快に堪へざる次第に御座候

今日午後四時門司出發、愈々祖國の地を離る、豫定に有之候此機會に於て先生の御健康を祈り候敬具

大正十年八月六日 門司港にて 大塚

秋月先生侍史

●●●●●京都[illegible]學校敎授及學生[illegible]一行十四名は九日夜十一時[illegible]にて出發平壤新義州[illegible]を經て大連旅順方面の各地を經て[illegible]學し歸校すべく一行中の[illegible]予團は今後共各地に於て[illegible]合をなす豫定なりと

人事消息

▲天日常次郎氏(京商社長) 九日前十時發靜岡方面に出張二週間[illegible]に歸任の筈
▲加木利平氏(全北警察部長) 一日頃東京出發歸任の筈
▲西猛與氏(總督府會計課計理主任) 地方行政事務視察の爲め北海道東京市へ出張を命ぜられ八月中[illegible]
▲結城治郞氏(平安南道知事) 目下歸鮮の途中[illegible]朝出發の筈
▲矢鍋永三郎氏(總督府社會課長) 滿洲方面に鮮人救濟事業打合せの爲出張中なるが十五日頃歸任の豫定

寸鐵

世界一の[illegible]ではあるけれ[illegible]流石に婦人參政運動の本元だけあつて英國下院は三年後に婦人を男子と同樣文官任命の決議案を可決した▲新しいことではこれも世界一のアメリカでは既に女代議士がある▲世界先進の英米が率先して婦人の人格を高め社會的地位[illegible]手腕とを是認しその[illegible]を高めつゝある▲それにひきかへ日本の女はまだ七去三從的な道理の桎梏からのがれられない[illegible]のは氣の毒ぢや▲石頭[illegible]の事件の噂が止んだかと思へばそのあとへ東大の[illegible]事件が暴露した▲學費金は[illegible]らつてやろ子供も產ませてや[illegible]▲但しよい女が見つかつたら[illegible]ん時棄てるかもわからない[illegible]殘酷過ぎてお話にもならぬ▲[illegible]の値段はいくらあがつても女の相場だけは丁度時代と[illegible]も變りのないのが[illegible]君子國ぢややけな▲指婚問題でも[illegible]持ちの惡い男子を[illegible]話の種だけでは聞つけない▲[illegible]りとて女代議士女文官はいつ[illegible]こか想像もできず▲當分は[illegible]の道具の一つで我慢をするか

滿鐵本社移轉に就て（二）
歴史と使命と移轉可否
併せて大連人士に誨ふ

奉天支局　老兎生

●話はチト大きくなるが由來日本の對滿方針なるものは根本に於て聊か吾人が共鳴し兼ぬる所が多い、先づ露國から讓り受けた滿鐵經營に就いて見るに『露國は領土上の野心があつた事』『不凍港を必要とする關係上大連旅順に拡大の力を注いだ事』是が日本とは根本から相違して居る、『日本は滿鐵經營なる名目に隱れて領土慾を逞しうし仕ようなど云ふ野心は全然ない事』日本には露國が大連を要した程痛切に大連を要しない、寧ろ日本人幾多數の福利を增進し文明の恩澤に浴せしめ文化の向上發展を期する上に於て反對に深く奥地に進入するの要がある、單に南滿のみに止まらず北滿に蒙古に、而して奥地の開發に伴ふて港灣は幾つでも開港する滿蒙！即ち日本が深く奥地に入り其の地の住民と利害を共にし進退を同うしてこそ初めて滿蒙に於ける生命はあり存在は必要とされるのである

●從來滿鐵が兎角其地住民と協調が保たれず對支感情に疎隔を招來する所以のものは要するに是れ丈けの用意がなく同情を有たぬからの事に原因は歸せられてるのである、滿鐵本社を租借地内に置き且つ露骨に一港主義大連集中主義を行ふ即ち滿鐵それ自身の利益にのみ急で奥地一般の利害を顧みず他地方に何等の同情を持たず極めて偏狹を極めて我が儘に行つて憚らない處は正に今日ある所以で而して其の使命其の方針を過つてる根本であらねばならぬ

●吾人が今滿鐵本社を奉天に移せと云ふのは根底を此處に置いて仕ようと云ふケチな考へではない、本社の移轉後れたりと雖も今でも移るないに於ては萬々である、最近早川社長の是に對する意見として傳へらるゝ處によれば最も考慮してる處は外交關係と資金問題とであるらしい

●外交關係は老兎も亦社長と同感であるが然らば何時になつたら都合が好くなるか、又將來移轉に都合の良好なる時期が來ると思へるか、不幸にして老兎は極東問題は向後益緊密となつて來て滿鐵の本社北進等に就いては、益困難となりはせぬかと思ふ、故に此の際斷行の外あるまいと思ふ、尚は此の關係に就いては書いて見ようと思ふ點は多々あるけれども社長の言の如く聊か是は遠慮んだ方が良いだらう

●進んで資金問題である、是は後藤中村の第一第二世時代ですら約二千萬圓を要すとされて居たのだから今日是を行はんとすれば尠くも五千萬圓は必要とするであらう、而し是が決して一時に要する譯ではない苟くも大本を擁する大會社である以上は老兎の如く行李を肩にし下駄を提げて九尺二間から九尺二間へ引越す樣に然かく容易な物ではない、引越しが容易でない程資金を得るに容易でないかと云ふことは其れに反比例して是亦決心如何で案ずるより產むが易い事はあるまいか

●要するに内地同樣の租借地内でお殿樣然と澄まし込んで居て見た處で例の日支親善の押賣り同樣で目的を達する事は至難の事であらう、否姉の水臭さに等しくはあるまいか、極東て云ふが今や太平洋問題、鮮滿問題は世界の國際政局に於ける重大問題である、日支の共存共榮は所謂外交的辭令や生臭法師の空念佛式で終らしてはならぬ其の眞實味内容の充實は刻一刻と迫つて來てる、只單に一大連の反對位で左右するべき輕々の問題ではない

奉天最近の財界
再び不安に陥る
東亞は此の責任を如何にする
殖銀救濟問題

【奉天】奉天財界の暗礁と云はれた殖產銀行も東亞、滿蒙毛織の外は預金を株式に變更し前記破綻は或時期まで其の預金を据置くと云ふので一先づ安定を見た奉天財界も最近東亞の重役たる松井鐵夫氏來奉以來

兎角の評判が生れて來た其の由來する處は多岐に亘つて決して單純なものではないが彼の奉天取引所信託を交易所と合併問題或は交易所の增資問題乃至は公債信託問題等隱れたる原因もあるらしいが、其主張する所は、殖銀整理に對し滿鐵が殖銀の減資、大口預金者は同社の株式に是を變更する事を提示し是が解決を見たる上奉天取引信託の救濟整理をせんと云ふのであつた其の結果は前記の如く殖銀は

整理の方針を執ると同時に正金との諒解の下に相當資金の融通を受け業務を進めて來た處が正金の諒解なるものも殖銀側の聲明する處と正金側の云ふ所とは强ち一致して居ない即ちまだ時期が來ぬかは知らぬが其の救濟方法は十分徹底したと云ふのでない點がないのは何人も認めてる處で大いに遺憾として居る處である、東亞側は一滿鐵が壓迫的態度を以て殖銀の整理に臨んだのは甚だ其の當を得ない又

正金の誠意も如何なる程度のものか、是又諒解し難い點がある、而も此の整理を一段落として殖銀現重役は辭職すると云ふ、然らば新重役選任の上は現重役の方針が踏襲されるか否かは不明である、斯の如き狀態にある殖銀に十二萬と云ふ大金を預金して置く譯には行かないから此際殖銀から其の預金を引出すと云ふのである萬一殖銀が是に應じないならば取るべき手段を取るまでの意氣込みである、

殖銀救濟問題は一般奉天有志の意見に徴せんか、彼の如き殖銀は倒れた方がよろしい、がしかし是が倒れた結果は他に影響を及ぼし其れが爲に奉天財界を益窮迫せしむる惧れがある故に他が可要とし救濟せよと云ふ命が朝鮮銀行と其の間に請が纏まり總裁は其の命令を發したのである、處が其の當時殖銀は救濟方を正金に交渉中であつた其の德義を重んじて依然正金との交渉を繼續してる譯である、從つて

大口預金者も此間の約束理由を諒して前記の如く自分勝手の議論を以て預金の引出をなさんか他の預金者も亦其れに倣ふに至り結局殖銀なるものは存立が不可能となり且つ奉天財界は甚大なる悪影響を蒙らねばならぬ事となる、一般が東亞證券は其の創立の當時から兎角の評のあつた曰く付きのものであるのは多言を要せない處而して奉天交易所の開市に就いても話だ

不信用な點がないでもなかつたが奉天人士は德義を重んじ依然東亞側から相當の役も容れて事の圓滿を期してるのである此際東亞が一般の思惑も顧慮せず勝手な事を云ふのはチト筋道が立たぬぞはあるまいか、預けた金を出すのは當然だと云ふかも知れないが奉天財界擾亂の責任は當然東亞の雙肩に落ちねばならぬ此の責任まで背負ふて果して東亞は俯仰天地に愧ぢず堂々奉天香天下に闊步出來ると思ふかチト考へて見ては如何か

煙草輸入制限

【新義州】從來滿洲方面から朝鮮内に輸入を許されてゐた煙草は葉卷は五千本以内紙卷煙草は百本以内刻其他は三十匁以内を制限されて居たが今回煙草專賣法施行の結果外國製煙草は五本以内紙卷煙草は二十本以内刻板粉煙草は五匁以内より許可されぬことになつた

統營は水產が生命
煎子鰮の稀らしい豊漁で全市大に活氣づいてゐる

漢灘瀬戸海峽沿岸は勿論近く南海島方面に於ける煎子鰮は其全部統營に集散するのである統營港に集散する煎子鰮の取扱販賣をする機關として統營海產株式會社がある從來

此の近海より漁獲す海產物（煎子、鰤、鯛、干魚）は漁業資金の關係上其全部を下の關に直送するので統營市民は之が爲め年々多大の損失と犧牲を拂はねばならぬので前記の漁業會社を創設し漁業資金の貸出し其他漁業者に對するあらゆる便益の方途を講じた結果遂に漁獲物の全部を吾が統營港に集中せしむるに至つたのである

南鮮沿岸では昨年度の煎子鰮は二千年來未だ曾て見ざりしと云ふ大不漁で漁業者及仕込關係者等は實に悲慘の極に達し隨つて煎子鰮の統營港も稍々常に活氣ある諸々たる統營港も沈の狀態であつた然るに今年の漁產界は非常なる勢ひで昨年の大不漁と反對に大豐漁で漁業者の

大豐年である　隨つて土地だけに之が影響を受け一般市民は之が餘澤を受けて活々として居る樣である

◎本年度（五月一日より七月末日迄）扱に係る販賣額を調べて見るに金八十二萬九千三百圓であつて之を昨年の同期間に於ける販賣額に對照して見ると昨年は五十六萬三千三百圓で即ち本年は

振替貯金と釜山
管理所設置要望
運動の機運大いに熟す

【釜山】爲替と貯金の兩制度を具備せる郵便振替貯金制度の新領土に於ける利用は逐年增加し同取扱上に多大の利便を與へつゝあるは言を俟たざる所なるが商取引上に於ては京城に一管理所あるのみにて

隨つて同所に口座を設け一々經由の手數を要する爲め時日の空費と資金運用の缺陷を缺き痛切に不便を感じつゝある所々南鮮一帶商圈の中軸をなせる釜山に在りては最も然りとす殊に釜山に現在の振替口座加入數京城の四百四十餘口を筆頭に大阪、福岡、東京等の口數を合すれば五百口以上にのぼらんとする趨勢にあり萬一釜山に管理所設置されんか裕に附近各地の

變更及び加入を加ふれず千數百口に達するは蓋し疑ひを想に難からず釜山輸出入商組合にては昨年來よりの懸案として以上の理由により釜山商業會議所に委囑し其筋へ請願方を陳情する所あり香椎會頭は此旨を諒とし竹内遞信局長赴任通過及其後事務視察の爲め來釜の際親しく面接して之が陳情を爲し熟慮を煩はす事謂ふに及びたる事實あり然るに此程同樣の理由により大邱府が

管理所新設の運動を開始せんとする風說傳はるや之に刺戟せられて一時立消ゑとなりし運動の氣勢頓に昂まり愈南鮮經濟界開發の見地より是非管理所の新設を懇請すべく總督及竹内局長宛陳情書を會議所役員會の決議により提出したる由なるが近く之が實行委員として前所役員中より雄辯の雄水野巖氏を選び上城させ親しく面接の上新設するとせば

釜山を措いて他に適地なき所以を陳情する事となるべく一般の民の輿論を喚起し該運動の機運は熟しつゝあり

平澤鮮市殷賑

【平澤】米價高騰に連れ平澤地方に於ける農家は昨今の突如に來るべき豐作を豫想したるものが除草完了と共に農閑季となり頓に購買力を增進し、昨今の五、

漁場巡り
南海島へ
田中朱楠生

七月三十一日朝七時半南海島蔚肋港行き西瓜船に便乘して巨濟島長承浦を出帆すること、なつた同行者は蔚肋里郵便所長窪師及び記者と都合三名である當日は

早朝から風雨のため浪立ちて沖合の模樣が氣遣はれたが海に馴れた船頭衆の言葉を信頼して錨を捲く船は折柄の順風に帆を孕ませて徐々と港外に出た雨は益降り風愈加はり船は矢を射る如く走るやがて長崎鼻と稱する難所に差し掛れば波いと高く船體の動搖激しくなり船倉の西瓜は

ゴロ〳〵と甘の樣な響を傳へて船底に轉げ落ちる騷ぎに一同は少からず不安の色を見せたが流石に船頭衆は平氣なもので追分など唄ひつゝ名自分を護つてゐたやがてこの難所を過ぐれば雨は晴れた山に放てる牛の群が樂そうに草を喰つてゐる餌をあさる鷗があそこ此處に飛つ浮かびつ嘯いてゐる

一同は此の目新しい繪の如き海の光景を眺めながら知らず〳〵の中に目的地に近づかれて行つたのであつた南海島の影は見え出した風なぎて船進まず漸く同午後五時頃蔚肋港に着いた南海島は朝鮮三大島の一で蔚肋港は其の南端に當る南面邑より七里の行程だ同港は明治四十二三年頃

一時は殷盛を極めた漁業根據地であつたそうだが其後不漁續いた爲に漁業者の多くは同地を引き揚げた爲め斯業は衰微してしまつた然るに二三年前より復活して兎も角も一箇年百三千餘萬圓の水揚をしてゐる漁獲物は下關神戸方面に直送さる、も本年四五六七月の四箇月間に於ては

約六十萬圓に上つた今回南海の邑内より同地まで電線が架設せらる、事となり其工費として同地林業組合は日鮮組合員金九郵便所長及同地關係者は五千五百圓を負擔し之を當局に寄附したそうだ愈此の電線が通ずる事になれば繁榮の都合も敏活となり且又一般取引關係も圓滑となり從て朝鮮汽船の寄航を見るであらうそうなれば同地も遠からず昔の殷盛時代に復するであらう

是はまた如何した譯
一布教所に和尚が二人
愚衲が眞の後任でござる　否愚衲が……と爭議中

【濟洲】濟洲曹洞宗布教所には昨秋迄野武翁師が長崎に轉勤して居た同師の推薦で敦賀から城石顯と云ふ

若い和尚が後任として居た、然るに今回突如として東京から幸谷逢順と云ふ布教師が本山の辭令を提げて來て家族五人を伴ひ來濟し之も愚衲が後任で御座ると乘込んだ爲紛糾したのは城師で、衛來

兩師の間に頻りに爭議が持上がつて居るが、壇家一同は温厚で年若な城師に同情し協議の上新和尚を認めぬと云ふ事になつた、幸谷氏は又署長や府尹に泣きを入れて何とか爲をつけて貰はふと云ふ

馬山未曾有の賑ひ
海祭りの一夜
水死した人々の靈を祭つて
火の街、火の海の壯觀

馬山にては七日午後七時より海祭りと燈籠流しを催した海祭りの目的は當地近海で水死した多くの人々の生靈を祭りて地下に心好く瞑せしめ又は

馬山近海より漁獲して食膳に上る魚族の靈魂をも慰撫すると云ふのである當日馬山驛鐵道用地内に祭壇を築かれ多數の白旗を備へ香華を奠し七時半より馬山府尹の祭文を先頭に馬鎭内地の各宗僧侶の讀經あり貴族參拜者の燒香あつて暫時一般に讓渡を爲して祭壇に撤回し

八時半頃より馬山灣内數箇所より數千の燈籠に一齊點火し之を海中に流した、波間を搖られ乍ら西に東に南に北に漂流する燈籠は馬山灣一面に擴がりて同灣は一時に火の海となつたり其間を縫ふて西國三十三ヶ所の御詠歌隊は數隻の團平船に二十人三十人五十人位分乘し

チンチンの鉦鼓を打ち鳴らして節面白く詠ひ回はる、陸には祭壇より附近數丁の道筋兩側に角行燈を無數の建設し夜に入るや一齊に點火したれば臨時建設せる式場のアーク燈と相映揮して壯觀を極め加ふるに空中には始終煙花を打揚げて氣勢を副へたれば海陸無數の觀客は

拍手喝采鳴りも已まず馬山の海陸は全く火と化した當夜は之が爲め陸海汽船馬山府自轉車組合は觀客の便宜を圖つて乘載の大割引をなしたので鎭海より團體見物もあり馬山開催以來の大賑ひであつた

十の市日には夥しき人出あり布木等の賣行可なり旺盛にして他の鮮雜貨も多少高騰の氣味あり、目下重なる價格を示せば白米三十錢鷄卵三十錢三四月孵化したるもの四十錢乃至七八十錢にして白米は石五十圓他は二割方の騰貴を示せり

平北警察部異動說

【新義州】平北警察部高等警察課長警視岡本亥之吉氏忠清北道に轉任し後任は保安課長前田警部督視に昇進のため平北警察部に異動あらんかと取沙汰する處によれば石黒警察部長は京畿道に鈴木警察部長は平壤に榮轉すべく而して山内技師衛生課長に擬せられ前田警視岡本課長の後任か又は新義州署長たるべしとの說あり

郡應務主任異動

江原道郡應務主任異動は八月三日附を以て發表したり各任地左の如し

▲洪川　西村慶太郎氏は休職　▲華川　古川靜夫氏は洪川在勤　▲三陟　白濱光次氏は華川在勤　▲江陵　粕谷之助氏は三陟在勤

眞相を探る

と諸住の配下の運動費をせしめんとの打撲ね野郎が兩人を操つて南方から居らしい夫れにしても總督の位置にある京城遞の賈洞宗先生は何を寢ぼけて居るか早速出張して解決せぬと內外人の物笑の種だ

大弓の場開き

【全州】全州俱樂部にては今回大仕掛けの大弓場を設けたるを以て十四日の日曜日には場開きとして大會を開催し賞品多數に及ぶ由盛況を呈するならん

紹介

◇溫陽溫泉場の開展　溫陽溫泉會社は溫泉の改善したるに伴ひ一方浴客の優待法に付けて一般要求を受くる折柄鐵道旅館は營業擴張上必要大なる二階建を增築し過日上棟したるか着々工事を進め八月中に完成の暁溫泉場の開展として浮ぶべき次節なり（天安）

◇國境通信發行　安東縣元安東民團役所庶務課長たりし西浦牛助氏の主宰する週刊新聞國境通信は不日其創刊號を發行すべしと（安東縣）

銀行會社

商事總會　安東商事信託株式會社定時株主總會を來る二十一日公會堂に於て開催する由なるが當期の配當は例により一割一分なりと（安東縣）

地方集會

◎仁川會頭歡迎宴　仁川商業會議所會頭吉田秀次郎氏は八月六日午後七時八坂樓に於て商議會頭就任披露の宴を催ふし官民の主なるもの六十餘名を招待し近來稀なる盛宴にてありしが之に對して若松取引所社長の町會頭なる祝辭あり清興限りなく一同充分の歡を盡して午後十一時揚げ散會せり（仁川）

地方人事

▲石川成壽（京都帝國大學講師）は午後八時牛發鶴貸丸にて歸京（釜山）
▲村山少將（平壤第三十九旅團長）は來る十六日來新一泊の上十八日朝定州に向ふべしと（新義州）
▲中島三郎氏（總督府商工課長）新義州に於ける官營工事狀況視察のため七日來新
▲岡田縣學事視察團一行二十二名七日來新一泊八日各學校諸工場等を視察し安東縣へ（新義州）
▲森御藏氏（奉天商品陳列所主任）六日午後二時發安奉丸にて來連數日滯在の後歸任の筈（大連）
▲筒井正五郎氏（滿鐵勸業課次席農學士）七日はるぴん丸にて上京（大連）
▲佐藤吉郎氏（關東廳遞信局通信事務官業務課長）同上（大連）
▲土岐嘉平氏（關東廳事務課長）任地赴任の筈（大連）
▲立川京南鐵道事八月七日總督府に對する用務を以て京城で用談二三日滯在の筈（天安）
▲塚本惠一氏（協成銀行安東人）鄕里に於て尚開港を受くべく六日午後五時四十分發列車にて鄕里福岡縣に向つて出發（安東縣）

登錄商標　九重　味淋　醸造元　愛知縣三河國大濱町　石川八郎治醸　京城代理店　京城支店

安心の出來る靴
ボックス皮製編上　一號金五圓五拾錢　二號金六圓五拾錢　三號金七圓五拾錢　四號金八圓五拾錢　五號金九圓五拾錢
ボックス皮製深ゴム　一號金五圓五拾錢　二號金六圓五拾錢　三號金七圓五拾錢　四號金八圓五拾錢　五號金九圓五拾錢
ボックス皮深ゴム　一號金六圓五拾錢　二號金七圓五拾錢　三號金八圓五拾錢　四號金九圓五拾錢　五號金拾圓五拾錢
耐久保險短靴　金參圓五拾錢　ゴム靴　金貳圓　短靴（赤黒共）金四圓
紳士向深靴短靴　御注文の節は足袋文數御通知次第送料實費にて御送付申上候
東京府東京橋幸町　日野製靴店　電話京橋五二七二番　振替東京九九五一

最新輸入　英國メンダイン
ガラス、瀬戸物金屬象牙石具木竹、皮ゴム、製函、製本、家具什器　玩具骨董品及建築諸物類等の接合又は修理に最も適す
京城黃金町三丁目　山陽電氣商會　電話一四二五番　振替京城四五二八番

眼科專門　金井眼科醫院　京城若草町（櫻井町通り）電話一五五六　●入院隨意　●日曜祭日診察午前中

掉尾の活躍
來る十日より十五日まで
夏物最終大賣出し
京城　三中井吳服店
特提
上等絽羽織地壹反　八圓と拾圓
モスリン友禪の新柄大巾一尺　五拾五錢
其の他特價品いろいろ提供致します

立秋の朝

女性の弱點につけ込んで 花柳病醫の横暴

婦人患者の藥價は五倍高 内務省衛生局で調査に着手

近來花柳病專門醫が著しく増加したが就中男子專門よりも女子專門家が多い。斯の如き現象は花柳病專門醫は外の醫師に比し非常にボロイ藥價を貪る爲で殊に婦人などは實價は一圓にみたないものを五圓以上にして徴收して居ると云ふが特に婦人は此病氣に對して非常に羞恥を感じて居るので如何に高價の藥價を要求されても外は醫師を變へる事はなき爲である、之を較べると男子は此病氣に對し藥價等にも多少智識を有し羞恥の點が少き爲め實價一圓を二圓位しか要求が出來ないと、而して此頃に至りては男女を通じて何れの病院も滿員の状態で各醫師の懐中は餘程暖かであるとの事で是等に鑑み内務省衛生局にては調査に着手する筈である（東京電話）

平北龍岩浦の水害

日本家屋浸水 交通一時途絶

【新義州】平北龍岩浦は鴨綠江の増水と五日の大潮にて内地人街は四日朝來一面に浸水し交通一時杜絶せるが龍川郡内の鴨綠江岸にある一部落の如きは全部浸水に沒するの慘状を呈したり又良策驛は三日夜來の風雨にて待合室破壞されたり（新義州）

專賣局の怪聞

高等官廿名に係る疑雲

【東京發電】津下精一の印紙準備事件より新に問題として世間に現れたる臺灣阿片の拂下運動に關連し拂下に於ては第一人者なる星製藥株式會社と臺灣總督府專賣局との間に醜關係ありとの風評一時に擴がり星製藥會社はこの特權により得たる今日迄の利得一千萬圓以上に達し居るが之に關連し專賣局長加來佐賀太郎夫人を筆頭に其他高等官二十餘名と前專賣局勤務高等官數名も疑惑の渦中に捲込まれ居れりとの取沙汰あり

向上會館施設

準備着々進捗

市内南山本願寺朝鮮布教監督渡田文學士の主唱で眞宗大谷派が鮮人教化の一大機關として向上會館を新設計畫中なる事は既報の如くなるが右施設に要する經費は建築費、設備費その他を合し十三萬八千餘圓を計上し事業の内容は教養部修學部授産部の三部に分れ朝鮮現下の社會状態に在りては緊要且つ有意義の好施設にして市内同派信徒中の有志は續々該事業に對して協贊の意を表し廿八名より五萬數千圓の寄附あり尚京都本山より三萬餘圓出ある事に決し居る其他總督府、銀行會社等へも寄附を勸誘中なれば九月中には豫定の金額に達すべしと

慶雲會同窓會

京城女子高等普通學校では婦德を進めて併せて母校の恩義を記念するため同窓生を以て慶雲會を組織し來る十五日午前九時より同窓會を開催し會務報告、役員並に客員紹介、會則變更、會長訓話、名士の講演その他餘興及び『現今の服装を如何に改良すべきか』の問題について研究を遂げる筈にて會費五十錢、出席の有無は十日までに通知さるべく尚同會は來る廿七日仁川方面の見學をなすべしと

僞造銀貨發見

六日午後一時頃白の背廣服を著た背の低い男が平壤大和町川俣洋品店に入り來り二十錢の僞造銀貨を出してシャツの釦を求めたが該店の主人に僞造銀貨なる事を看破され其儘逃げ失たと（平壤）

馬賊被害續出

鴨綠江對岸支那地に於る馬賊の出没甚だしきこと屢報の如くなるが今平北渭原警察所に達せる七月下旬中の馬賊情報左の如くにて對岸民は戰々恂々たりと（新義州）

▲二十日午前十時輯安縣二道溝に現るゝ馬賊の部下二十六名現る

▲二十四日臨江縣頭道溝に頭目王青山の部下八十名より成る一團臨江縣内より討伐軍に追はれ來り山林中に天幕生活を營み居れるが近く二道溝を襲撃すべく目下準備中の由

▲廿七日未明同縣石灰溝にも頭目不詳の馬賊現はれ牛一頭を掠め居り富豪を襲ひて現金五百元を掠奪したり

▲卅一日朝通化縣大嶺溝に頭目李山甲の部下八十名來襲富豪二軒を襲ひ又同日二道溝に百三十名の大集團現れ富豪三戸を襲ひ二千四百元を奪ひ去れり

歡迎將棊會

先日來帝都城中の將棊六段堀内氏歡迎將棊會は七日午後一時から本町五丁目權平座にて開催したるが來會者十數名先づ入湯風呂に入つて俗塵を洗ひ清め浴衣掛けの瀟洒な姿となつて盤を圍むこと數番夕食後再び續き戰ひあり十時過ぎ盛會裡に散會した

籠拔藝妓捕る

安東縣五番通八丁目料理店下一抱へ藝妓政奴事藤原ユリは數日前前借三千圓を踏み倒し逃走し五日夕奉天浪花通りに於て發見して懇諭を通し居る情夫の許に赴かんとし通行人に道を聞いた處その兩名が奉天署の刑事だつたので取押へられ安東に送還さる（安東縣）

三歳の幼女 猛獸に浚はる

兩親と軒下に臥寢中

八月四日午前二時頃大同郡秋乙美面梨木里二〇八農鮑學源夫妻が寢ると三女三歳を間にして同家の軒下に熟睡中猛獸に浚はれた此報を聞いた近隣の人々三十餘名は直に鐵砲や鍬などを携へて捜索したが同地を距る約十町餘の河原に同人の肋骨二本と腸のみを發見した多分狼の仕業であらうと（平壤）

古器物發見

二千年前のもの

平北義州郡義州面弘西洞居住李永昌氏は、去月二十八日同郡松張面の金光山中にて、約二千年前の古物を發見した。右は銅製佛像の頭部と古錢三十一枚古鏡一葉其他磁器他一點で目下義州で研究中だと（新義州）

京城師範 臨海修學團

元山より 【第二信】

今朝も矢張り曇つて居ります。朝六時起床だといふのに生徒達はもう五時頃からわいわい言つて居ります。六時半には相向ひの眞宗寺の庭を借りて十分間許り體操をいたします。これが終ると一同は殿堂を食堂になつて居る六十一疊の間に集まり西東にならべられた食卓を挾んで二列にならび朝飯を頂きます。先生方も一緒に濟まされます。八時から九時までは授業時間になつて居るのですが今日は特に自習をすることになりました。九時半には幼稚園に宿泊して居る生徒は元山中學校寄宿舍の前まで行くことで同舍に宿泊して居る人達と一緒になつて海水浴場へ向ひます。元山府廳の前を通り一町許り北すると直に海岸に出ます。港口は佛國の軍艦が一隻投錨して居りました。

海岸には參々伍々同軍艦の乘組員でせう散策して居るのが見られます。私共にあてられた宿所は一般海水浴場の西にあり丁度海に突き出た岩を以て境にせられて居ります。海藻の匂ひが高く香ります。一同素裸形になつて紐分けの網を著け人員點呼が畢ると直ぐに海に入ります。海はかなりの遠淺で波は至つて靜かです。水泳教師は京中の佐藤教官がその任に當つて居られます。各自教師及助手の懇切なる指揮の下に熱心な練習を終へて十二時頃切り上げ人員點呼がありて着衣列をなして宿舍に歸りました。もう晝食の用意が出來てあつたので一同食卓に着き空腹を滿たします。午後一時半再び今朝の通りの順序を以て泳ぎに參ります。午後は相當に浴客が來て居りました。空は矢張曇つて居ります。面白く練習を終へて三時半切り上げて宿舍に歸りました。これから九時の點檢までは別段用事も無いので各自隨意行動を許されます。明日は有志の者の五町距離游泳競技が行はれる筈であります。

携帶至便 カルピス 一個金五錢 （下部）

白頭山登山隊

八日北青に向ふ

道の農作物は青々として美し（北青特派員北青發）

咸南道廳主催の白頭山登山隊二十餘名は八日朝自動車を驅つて出發せり咸興より北青二十五里の間は連日の降雨の爲道路甚だ險惡にして至る處水溜りあり自動車は殆ど冒險的運轉をなし午後五時洪原通過北青に到着官民多數の歡迎を受く九日朝豐山に向ふ一行元氣旺盛なり

娼妓張店廢止

龍山桃山遊廓では時勢に順應して娼妓の一日も速に苦界を脱することを思ひ、又慰安を與ふる爲め一ヶ月の賣高百圓に對し五圓の賞金を與へ前借金の拂込に貯金せしめ又年九月二十日公休日を與へ自由に一日の游遊をさせる爲め風紀維持の關係から來る十月中旬迄に全部の張り店撤廢をなすことにした

橋本博士令孃

水原勸業模範場技師農學博士橋本左五郎氏令孃英子（二）は腸扶斯にて療養中の處藥石効なく八日午後七時半永眠葬式は十一日午前九時自宅に於て告別式を行ふ

溺死體漂著

七日午後四時半甕島公立普通學校の漢江に面した崖下に年齢五十歳位の男の溺死體漂著したるが全身腐爛し死後廿日間位經過せし者なりと

龍山署移轉

龍山警察署にては廳舍狹隘の爲め改築することゝなり假事務所を移轉すべく八日朝龍山鐵道學校舍一部を借り受け開始せり

▼コドモの文▲

おぢいさんのこと 京城鍾路校尋二 藤谷

おぢいさんはあさからばんまでうゑ木をきつてゐます、そしてけがをしない日はめつたにありません

おばあさんが『もういゝかげんにやめておかんとまたかたがいたくなりますよ』といつてもなかなかやめません

おばあさんがこちらに來て『ねねしげちやん、おぢいさんは、ほんとにかたいじだね』といふとおぢいさんは『もうすこしたら、丁ふのにおばあさんはあんな事をいふ』といつてわらつてゐます。

▼評 そのおぢいさんのすがたが目に見るやうです（記者）

納涼行脚

幽邃なる大屯山

木浦附近の納涼地

◆木浦附近に於て納涼地を求むるならば先づ海南郡大屯寺の所在たる頭輪山の翠溪の宴境に指を屈せざるを得まい。

◆大屯寺は全羅南道海南郡海南邑内より南三里餘の三山面にあり今より千四百年前百濟久爾辛王七年新羅阿道和尚の開基に係るものにして堂宇莊嚴丹碧の結構雄麗を極め僧侶の數、百餘名二六刹中の古刹を以て著聞して居る

◆境域八百町歩千古の森林鬱蒼として晝猶ほ暗く溪流其の間に奔騰して激しては幾條の素練を懸け堰かれては萬顆の球と散り淵しては一面の明鏡と化し山水の配合其の宜しきを得て四季とりどりの情景に富み實に別乾坤の感あり名づけて之れを大屯山……とはない。

◆元來大屯山の生命は百花既に謝して皐月空晴れやかに青葉風光る新緑の交にあると稱せられて居るが記者は寧ろ夏の納涼地としての方が好適ではあるまいかと思ふ

◆大屯寺の入口の九曲溪に架してある第一橋から第九橋の袂にある枕溪樓に至る迄の間は九夏半に膽さいふ程にはあらねど奇巖怪石へ溪谷迫り松籟溪流颯々淋々の響を發して山懐に御し崇神靈氣を吐いて鬼氣四邊に漲り人をして轉た凄愴の情に堪へざらしむるものがある。危巖を下つて峽谷にいたれ流れに臨んで嗽せんか冷透氷の如く滿身透る疎然として府に透するの思ひがあるであらう。大屯山は矢張り新緑よりも盛夏納涼地としての方が好適のやうに思はれる。

◆山中には枕溪樓とか大雄殿とか冥府殿とか大香閣とか應眞殿とか洗心庵とか驪勤庵とかいろいろな堂宇や陵庭があるが何れも夫々に由緒縁歴あり又寺寶も尠くない純義門内の表忠祠内には西山大師の畫像及び國寶ともいふべき寶物を納めて居る又大雄殿内には朝鮮に三個しかない貴重な鐘がある關野博士は九百年前のものだと鑑定したさうだが、此の鐘は優に國寶とすべき價値があるとの事だ因に西山大師は今から三百年前の大智識であるとの事である

◆大屯山への交通は木浦から發動汽船にて西進に到り（此の間二時間半を要し汽船賃八十錢）西進より自動車にて海南邑内に赴き（此の間三十分間自動車賃一圓五十錢）海南邑内より更に自動車にて大屯寺（此の間二十分間自動車賃一圓）に到るのであるが追々は交通の便も好くなるだらうとの事である

◆宿屋は海南邑内に二三の内地人宿屋あり一泊二圓乃至三圓大屯山には勿論一軒もないが僧侶に乞へば喜んで泊めて呉れるさうである。副食物は精進料理であること言ふ迄もない。大屯寺は實は大興寺と稱するのであるが普通大屯寺の方が通りがよいので特に通稱を用ひ譯である（記者は大屯山の閑客）

浮草（20）

入江新八 田守早苗畫

敵視（五）

道代には銀座の夜の光景が詩のやうに見えた。彼の女が曾て空想したやうな美しい情緒を充分に感じ取ることが出來た。大路に並ぶ柳の條が風にゆれて、青く流れてゐる灯の反射が彼の女の幻影を打ち壞すことはなかつた。東京の夜は好きだと思つた。けれども、京城の夜も矢張り美しくて、忘れ難い懷しさがあるので、道代は幾分か反抗的に自分の故郷を褒めて、銀座の賑ひをそんなに驚嘆する程のこともないやうに云つてゐたのだつた。また、實際に於て、銀座の大通りが、京城の目貫な街の立派さに比して決して勝つてるとも思へない。むしろ文明的には建築の上にも、店頭の裝飾などにも退歩してるやうにも思はれた。東京といふ名に眩せられて、何にもかも買ひ冠ることはない。東京に恐れることはない。東京の人間に、そんなに遠慮することは無い。自分を自分から田舍者のやうに取り扱ふことはない、といふやうに道代は思つてゐた。夜の街を右往左往してゐる多くの女達も、そんなにめかし込んでもゐなかつた。矢張り、浴衣がけで、チョコナンと細い狹い帶をお尻の端に結んで歩いてゐる……別に巴里の街や、倫敦の街を見るやうな全く別の世界の文明が自分の眼を驚異させるやうにも思へない。……矢張日本だ、日本人が中心になつてゐる京城の街と同じことだと道代は思つて、東京驛でひどく脅かされたことを馬鹿々々しくも感じたのだつた。けれども道代には、何の女を見ても、垢拔けがして、意氣で、姿が馬鹿に好いと思つた。有繋に矢張り東京の女だ、都だと思つて見返りたいやうな婦人にも幾人となく出逢した。

『何うですね、道代さん。東京の夜の第一印象は？……』宮崎は云つてゐた。

『矢張り好いわ。東京の女は美しいわ。姿が素敵ですわ』

と云つた。それにつけても、自分の此の打扮では、何うにもならない。夜だから、斯うして歩いてはゐられるけれども、晝間だつたら、とても私は顏なんか揚げて歩いてはゐられないだらう、と道代はまた自分の衣物のことを考へてゐた。それで、丁度呉服屋の前を通つた時に、道代は『ちよつと……』と云つて立ちとまつた。店頭に押並んだ反物の中には中々好い柄のものがあつて、隨分高價な正札が附いてゐた。道代はその一つの反物を手に取つて、

『此れは何う？、私に似合ふでせうか？』と訊いた。

『好いね、中々……でも、隨分高價いなア……』と宮崎は云つた。斯んなものを購ふ程道代は用意した金錢を持つて來てるのだらうかと心に危んだ。

『私、これを買ひますわ。』

道代は購買慾が胸に一杯になつて、後のことを考へる餘地もなく、それを買つてしまつたのだつた。道代は反物の包みを小脇に抱へて、いそいそと宮崎と並んで歩い[…]時々若い男が自分の顏を注意して見てゐることが道代に分かつた。そして自分が注目されてゐる丈けの何かを持つてゐるのだといふ自意識があつた。

『何か飲みませうかね。……紅茶でも……』と宮崎は云つた。

道代は首肯いてゐた。そして自分の解放された生活が嬉しく、心が彈んだ。或る喫茶店に兩人は這入つて、暫くして出て來た。道代は凡て見るもの聞くものに大なる興味と智識とが得られるやうに思つた。

やがて、宮崎は道代に別れて電車に乘つた。もう一度道代の宿まで來いと勸められたのを無理に振り切つて電車へ乘つたのだつた。彼は皆子が自分を待ち佗てゐるだらうと氣が氣でなかつた。家に近づくと果して門前に皆子が立つて彼の歸りを俟つてゐた。彼は妻の顏を見ると、今迄道代と銀座を歩いてゐた時とは全く別な氣持になつてゐた。

皮膚科 專門 外 京城太平通二丁目 扇田醫院 電話二二五八番

パン 品質本位 神戸屋 電話二一〇五

染物 洗張 師 清水堂 京城府漢江通三 電話七五四番

川柳 剣花坊選

寒い事 大邱 邱花坊

○ 今回『寒い事』などの句を出す妙だが選が前後になつた、しかし作者の努力が沒することは出來ないから掲げる。且つ川柳は俳句とはちがひ、季節を主とするので無く人情を詠ふのだから、春夏秋冬の事に拘束せられることは無い

寒い事物もいはない使者が生きてゐる 評 取材巧妙

○ 全北 淑氣坊

獄屋へ音信が來るみうれの夜 評 心細さ妻子のありさまありありと目の前に見えて來る

男同士雜魚寢をしてる寒い事 評 男性の雜魚寢には世間に何等も無くも自づから温かさものなるに

古シャツを乞食にめぐむ寒い霄

どの宿も泊めてくれない夜の雪 評 何の奇も無く平凡な句だが、さうなつてゐる

○ 產

本願寺木綿の方が財産家 東京 有田生 評 これでは說明だ、時さしての味が無い、今すこしうまく云ひ廻したらよからうと思ふ

○ 鎮南浦 可敬

名產と聞いて茶碗も買ふて行き 評 作者の自註に『朝鮮名產高麗燒』とあり、其意のあるところは朝鮮の方より、今は却つて內地の長州松本の方が本場になつてゐるから、朝鮮の茶碗を買ふのは、滑稽だとでもいふのか、まさかさうではあるまい、當然に高麗燒茶碗は今に朝鮮の名產だと直解するならば、すこしの味も無い句になる

○ 北洞 柳蛙

御土產をキツト羽織着せかける 評 纎手柔かに背をたゝく時新しき良人者歡びにして海月の如し

植林は金の成る木を植ゐるの町 評 いさゝか狂句の臭がするから止めた

○ 八月子こいはねばならぬ譯がある 評 古川柳に『辨慶は力の強い譯があり』といふのがある。此較して其技短ないふ日になるぞ。ヤハり辨慶に國局が揚る

出版物に關する紹介は總て本社調査部宛の事

▲有色民族の大不平（渡邊已之次氏著）著者は大阪毎日の前編輯主…

▲孤立的日本の光榮 …世界の大勢を看取し正しく感じ正しく評する人である…『孤立的日本の光榮』なる一文を公にして其論據の正しき事を世に知らしめた今重ねて此著あり一名を白色民族の大陰謀とも稱して能く白人の傲慢を指摘し有色民族を排斥する事の不利不合理を説き有色民族の提携が正義人道の大本即ち世界平和人類繁榮の一義なる所以を說破して白人の反省を促し同時に有色民族の奮起自重を叫ぶ所に脈々掲ぐるの力を入れたり人種問題の喧しき今日必ず一讀の要あるこそ紳士淑女に勸む（一圓五十錢大阪毎日東京日日）

▲東方時論（八月號）太平洋會議を活用せよ中野正剛君、日米戰ふべきか中野太平洋上に平和來るか伊藤日本に來れる歐米人三宅雪嶺、移民問題の新地盤杉森其他（五十錢東京麴町區平河町四其社）

▲無我の愛（八月號）價値認識の展開伊藤證信生命の具體的表現としての詩金子白夢野の香りによせて宮崎安右衛門私の信仰生活伊藤朝子有ちぬ仲間へ西田天香其他（三十錢東京神田表神保町精神運動社）

▲ニコ〳〵（八月號）涼しい頌し（越谷小波伊豆の海で生川奏凉を探れて松崎天民二號伯に答へて櫻井智賢天眼鏡より見た人の身上話白眼道人珍な訴訟松竹の島人山中家の曲劇團惑作物騷動の此相一郎者其他（五十錢東京麴町區有樂町二其倶樂部）

▲蠶業新報（三四一） 三十三錢東京下谷中徒町三其社

▲考へ方（八月號） 四十錢東京神田駿河臺鈴木町其研究社

▲婦女新聞（七の五） 十二錢東京麴橋角管其社

▲外交時報（倍大號） 日英同盟と國際聯盟立作太郎米國の外交木村正治、所謂太平洋會議江木翼新興諸國の地理歷史的研究長瀬鳳輔其他（八十錢東京麴町區下二番町其社）

▲照白（八月號） 日英同盟締結の問題社說日米關係の現在及將來黑白同人新聞王成功の秘訣王二麟橋子江大宮源長鉄子未顯眞實の佛法安立子其他（十五錢東京橋築地三黑白發行所）

▲朝鮮諸官職受驗科目講義錄（六）科目朝鮮行政法、民法民事訴訟法、朝鮮衛務法、公文、作文、算術、其他（全六冊三圓六十錢京城黃金町三朝鮮受驗學會）

▲電氣之友（八月號） 四十錢東京京橋區南金六町其社

▲盆栽（八月號） 五十錢東京神田小川町其發行所

▲東京美術時報（七） 十錢東京下大森山王源藏原其社

▲純正美術（六） 十二錢東京麴區下二番町其社

▲ジャパンタイムス學生號（二）二十五錢東京日比谷公園前其出版所

▲獨逸語青年（八月號） 三十五錢東京本鄉湯島切通江南堂

名產 杉の葉 發賣元 トキワ 調劑 舟台

▲病者生足下より地近頃明の透熱治療器家庭用御試み給へ効果 厨ひなし（元町一ノ二八ミスミ）▲菊水生に告ぐ中村延代さんは目下府内義州通三丁目二七ノ一伊東吉松方に御滯在中です▲病者に告ぐルイレキに貞癆切生）

廣告

夜襲列車で北行し平壤新義州より長驅撫順へと向つた…りませんか（好球生）…して何處かに諦つていたゞく所は有…で一所に餘かしてゐた方は…何うか一寸…下さい（〇生）▲ボール持ちて…初めの者ですが…名前…八月二日午前十一時半印刷所の方…より一時…▲八月二日午前十一時半平壤…物外）▲八月二日午前十一時半京城…

演藝案内

本町一丁目 大正館 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店提供 八月五日より最新優秀喜劇提供 米國キーストン會社の傑作品にして ニコ〳〵 俄令孃 全二卷 大映畫『男性と女性』全九卷 鬼奴夢の半九郎 全五卷 二五三十日より

黃金館 黃金町 一六三七 國難 全拾四卷 …八月五日正午より九日まで…

本町一丁目 喜樂館 電話九七番 八月五日より特選四大映畫提供 新派 十文字秀五郎 全五卷 チャップリン 大の出生活 全三卷 灰色の女 全卅一卷の内 銀杏落葉 全六卷

本町五丁目 電車終點 浪花座 電話三三八番 水戸黃門漫遊記 新派喜劇 … 鑛山の夕

京龍館 電話三二〇番 散り行く花 全四卷 … 夫物語 全五卷 粗忽武士 全五卷

△各種印刷 △講通帳 … 永樂町二 仁川活版所

（左端欄外・一部欠損）

京城の大模型を

よう京城府に下命ありたる◆平和博は頗る大規模のもの如く大阪市は出品費十一萬圓京…◆商…宅等の寫眞を出品し更に京城…店を設置する計畫にて既に右資…店申込者六名に達し居れりと

高等商業對京城軍庭球試合第二回 競技は八日午後四時五十分より長谷川町三井物産新設コートに於て試合に入る 盛況であつた、永田正審判松岡… 京城軍 高商軍

中川（徳久 中澤）一……三（中川 大内）

（德山 鈴木）一……三（宮本 篠田）

（高賓 河田）一……三（矢野 內藤）

中川元氣旺盛にして最初の一ゲームを敵にあたへしも…一〇にてアッケ無い敗…矢野前衛を働いて効を奏し若も…我最初の壘點を得れば彼赤壘點を得勝負は互に進み二對二となるや高商京城兩方よりの聲援德山組京城の御大組にあたり凄じく五回に入り内前のパック…

阿峴里の火藥庫爆破す

黑煙天に冲し一大音響は我京城を震撼せしむ

九日午後二時二十分轟然大爆發の音響が京城市内を震動せしめたるが右は西大門外阿峴里にある火藥倉庫の爆發で三棟中の東方にある一倉庫である所有者は明治町瀧川、藤木兩銃砲店にて常に警戒の爲め内地人番人某を附しあり藤本高等係警察課長、龍山署西大門署及び消防隊現場に馳せつけ消防に全力を盡したが他の二棟に飛火して爛失せるが破片飛散して物凄い慘状名狀すべからず火藥倉庫は附近部落と二百間以上を隔離せるを以て人畜の損害も少く音響の爲め附近部落の戸障子等の破損等一時は大騒ぎなり目下尚混雜中にて人畜の損害は詳ならず

後報

阿火藥庫の三棟の中二棟は無慘に崩れ其破片は山上は言ふに及ばず山下の一面から其邊一帶大正製藥株式會社附近迄飛散し見るに忍びざる大慘状を極めつゝあり目下一棟は盛んに燃えつゝあり殘る二棟も或は何時爆發するやも知らず折角駈付けたる消防隊も手の施し樣なく空しく傍觀するに過ぎず唯爆發を豫防して萬一に備へつゝあり右に就き現場に駈付たる大築消防組頭は語る此の火藥倉庫は一棟三坪になつて三棟あり其の番人は岩村某と云つて妻と子供と三人暮しをして居るのだが私等が駈け付て來た時には門が閉して在つたから外出して居つたのではないかと思はれる其の留守の間に餘り暑いので自然爆發したのではないかと思はれる而して其の家族が死んだのかそれとも生きて居るかは未だ全然不明である此結果は怎うなるのか不明で今は殘つて居る二棟も或は又爆發するやも知れず私等は唯警戒をして居るに過ぎません（午後二時四十五分記）

陸軍彈藥庫爆發

廣島市猛火に包まれんとす

銃砲彈飛散して消防も手を拱ね

【廣島特電】八日午後三時半廣島陸軍彈藥庫爆發し小銃砲彈四方に飛散し炸裂する樣凄慘を極め危險極まりなく消防も手を束ね居る有樣なり五時火勢益々烈く兵器廠倉庫二棟全燒し益延燒す第二彈藥庫に延燒せんか廣島市は猛火に包まるべし

死傷者五十名

【續報】廣島の火藥爆發の爲死傷したる者五十名に達す（廣島特電）

軍隊出動

火柱天に冲して凄慘を極む

（第三報）陸軍兵器支廠彈藥庫は今尚火柱天に冲し現場は大小銃砲彈四方に飛散炸裂して凄慘を極む目下第五師團軍隊出動し警戒に任じつゝあるが火勢猛烈何時兵器支廠に延燒するやも知れず市内各消防隊は出動して目下消防に努めつゝあり

八時半鎭火

生死不明多數

廣島彈藥庫の火災は八時半鎭火せり死者判明せるもの七名其の他一切不明なり（八日午後九時廣島發電）

爆發原因

自然發火か過失の爲か

△第四報 午後四時に至り附近民家に延燒し火勢猛烈を極む彈藥は四方に燃へ擴りつゝあり小銃彈盛んに炸裂して危險此上なく消防の効果もなく消防隊は手を拱んで傍觀するの外なき有樣なり火藥爆發の原因は今尚ほ不明にして或は氣温激騰のため自然發火なりと傳ふるも又一説には本日午後火車運搬中取落したるなりとも傳へ居れり尚ほ附近には第二彈藥庫あり之に火が移る事あれば廣島市は一大危險に陷るべしと目下軍隊消防隊全力を盡しつゝあり（廣島特電）

彈藥運搬中

運搬夫の失態

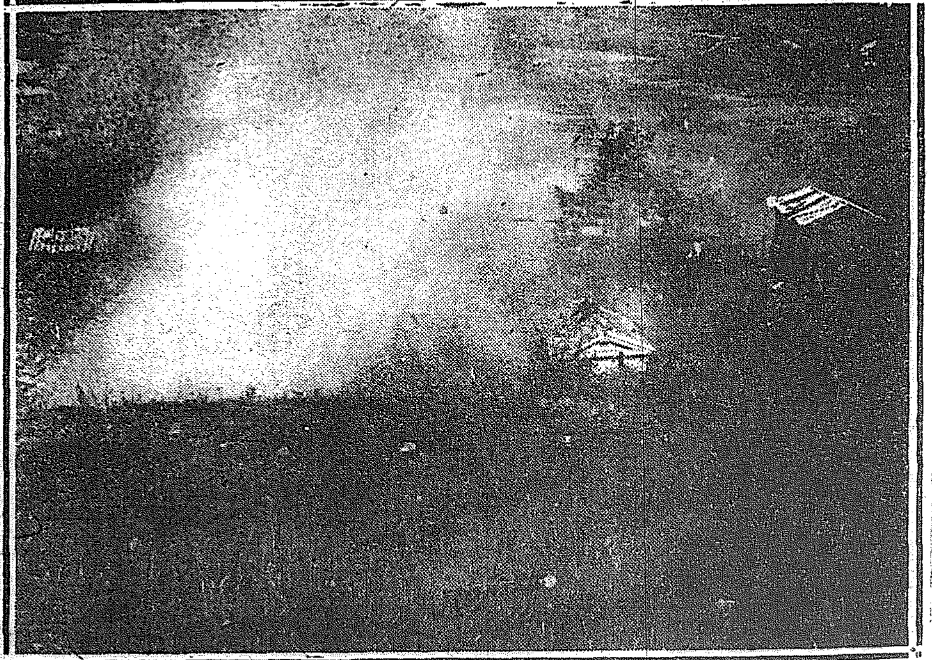
内藤兵器支廠長談

廣島彈藥庫爆發につき當面の責任者たる内藤廣島兵器支廠長は語る「飛んだ慘事が惹き起して社會に對して相濟みません原因に就ては自分の感想では西伯利から送還された小銃彈か宇品から彈藥庫に搬入の際運搬夫が取り落して彈藥箱の中で既に發火して居たる疑があるらしく此の善後策に就ては上司の指圖を仰いで居ります私として心中何事か期するもの有之如し」（廣島電報）

爆發頻々

廣島の火藥庫

五日午前一時半廣島第九號庫爆發し（長さ百二十間横三十間）八時鎭火せるが昨日と言ひ又本日と言ひ頻々たる爆發に人心恟々たり（廣島特電）



▽▲阿峴火藥庫爆破十分後の慘状▽▲

明春東京の平和博にも出品

目下開催中の大阪都市展覽會に我京城府の模型を出品中の處……京城府の模型は却々の好評なるが……都市は七萬圓を各支出する趣きなるが如き其の一班を察すべく……我京城府よりは大模型の外公設市場、南大門私設市場……

高鐙對京城

庭球二回戰

ドロンゲーム

……行された高鐙軍は前日の敗に鑑み必勝を期した意氣込で……前日に倍して緊張して面白い勝負を見せた觀衆亦多く非常な……最初のゲームより接戰を演じ高鐙軍前後衞ともよくあたり三對一にて諸岡組を居つた

（德久 中澤）三……一（諸岡 三輪）

（高橋 河野）三……〇（中川 大内）

中川組前回の戰ひに勢れたか三對二なり……

（高橋 渡邊）二……三（矢野 内藤）

高橋組は前日の優退組で良いあたり強急長短よろしきを得て矢野組を惱まし矢野亦よくねばり……

（德山 鈴木）三……二（高村 坂口）

……

社會事業

講演會

棚橋氏圖書館建設を力說す

京城道主催の社會教化講演會は豫定の如く其の第一日を九日午前九時より日の出小學校に於て開催せるが學校教員、官吏、學生並に民間有志等聽衆三百餘名にして盛況を極む定刻佐藤京畿道内務部長の開會の挨拶に亙ぎ文部省督學官にして帝國博物館長たる講師棚橋源一郎氏は拍手に迎へられて登壇あり『社會教化事業の効果を最も速かに最も確實に收むるには一般民間有志が事業の中心となるを要し民間有志を結ぶ爲めには學校が其の中心となるが良策なり而して社會教化の爲めに自分最も緊急なるは圖書館の建設に在り』と力說して正午降壇せるが明十日午前九時より引續き第二日を開催棚橋氏の續講あるべしと

香料御下賜

東宮、閑院宮兩殿下より鹿島の溺死水兵へ

去る三日午後三時五分鄕名瀨に於て一番二十五センチ砲側に作業中激浪の爲め海中に落ち溺死を遂げたる廣田二等水兵の事を聞し召され皇太子殿下には御同情あらせられて香料及家族へ御納料として金五百圓を下賜され又閑院宮殿下にも聞かせられても同じく御同情遊ばされて香料御下賜の旨仰せられたり（東京電報）

解き難き謎として

異鄕の赤士と化す

龍山の毒藥自殺美人

丁靑年と記者の會話

異鄕の身の不幸を嘆いて自己の運命を呪ひつゝ謎の重荷に堪わず死に沈淪して行つた龍山の毒藥自殺美人の消息に就ては嚴重に探查の歩を進め居れど丁某の謎の一字に絡はる此の事件の内容は皆目知れず徒らに奔命に疲るのみで

龍山署刑事

九日午前數名は再度三靑洞に大捜索を行つたが事件に關係の無い事を強調した……

本社が探知

した有力……

會話の中に

……

看護婦か

死美人の素性

戀人を慕ふて内地から來らしい

龍山署に於ては數名の刑事が此の死を解くべく全力を注いで……

驚くべき軍隊の墮落

妾を圍ひ人妻を姦し處女を犯す

＝龍山步兵聯隊の下士

民智の發達、國民思想の變遷に伴れて我が陸軍教育上に一大改革を行はれ從來の……

龍山步兵第〇〇聯隊の……

某軍曹は……

法院雇員募集

京城覆審法院では今回雇員數名募集する由なるが應募者は正午迄に履歴書携帶の上伊藤書記長迄申出づべしと

滿鐵事件に關連して

名士續々召喚さる

滿鐵支社家宅搜査を受け重要書類二行李押收さる

岡職豫審判事は瀧川檢事と共に神田書記を隨へ八日午後二時頃丸の内滿鐵支社に赴き庶務課及重役室の嚴重なる家宅搜索を行ひ重要書類を大行李二個に押收して引揚げたり（東京電報）

撫順炭坑の

田島次長

取調べらる

八日午前十時五分撫順炭礦次長田島楢吉及び庶務課長松崎登の兩氏は東京地方裁判所に召喚され岡職豫審判事の取調べを受けたり（東京電報）

清瀨代議士も

取調べらる

島根縣選出政友會所屬代議士清瀨規矩雄氏は一兩日前市内某かくれ家に於て瀧川檢事の取調べを受けたり氏は滿鐵本社にありて秘書役たりし時塔連炭坑買收に關し奔走に努め昨年五月選擧に使用したる五萬圓の費用も滿鐵より引出したるものなりとの嫌疑ありと云ふ（東京電報）

兩氏對決訊問

井上子爵と中西前副社長

岡職豫審判事は八日滿鐵家宅搜索……後井上子爵中西前副社長を召喚し對決訊問を行ひ午後四時半歸宅を許せり（東京電報）

滿鐵事件喚問

加藤氏取調らる

撫順炭坑長加藤直彦氏は八日岡職豫審判事の取調を受け又庶務係松崎昇氏も沼豫審判事の取調べを受けたり（東京電報）

表門に棄兒

九日午前零時京城府中林洞百三十番地魚屋堤某方表門内に生後二箇月位の女兒の棄兒あり、鮮人の……

◇◇人妻妙子が◇◇

悲しき旅に赴くまで

靜に昏睡の瞼を伏せて神田に前を恨みませぬ

【一】

大正十年二月雪のチラ〳〵降る寒い日の夕暮であつた、馬頭山の松林の松籟に鳴く鵯の聲も凍つてる總督府醫院の精神病舍に行く一筋の雪のだら〳〵坂を靜かに登つて行く一臺の寢臺車が有つた。降る雪は山下の颶しきに吹き飛ばされて幌に當つては北岳の方に散つてゐた。はためく幌の中には二十八位の面痩せた人妻は昏々と眠つて居た。強度の全身痙攣に惱しい、ヒステリックの發作を知覺と共に惑はれた此妙子は靜かな昏睡の瞼を伏せて自分は今雪路を擔架車に載せられて精神病舍に運ばれて行くのを知らない車の傍には妙子の主人である神田が自暴酒に面を赤め、焦燥の瑣術にかられて居た。車は八號病棟の無閑な扉の前に止まつた。係員は靜かに昏睡の妙子をまるで貴重な玉樣の寳物でも運ぶが如く抱へて病棟の一番綺麗な室に寢かした。昏睡に落ちた妙子は大變に靜かであつたけれど自暴酒に昂奮した神田は絶へず

抱吼を續け

て係員に苦しむ程であつた。陰慘な精神病舍の奥よりは狂人の吠きや、また女性の金切聲は無氣味に交錯して居た程なく時間が經過して妙子は昏睡より醒めたがほつかり月見草の花のやうに開かれた彼女の瞳には、ホロ〳〵と涙は溢れて『神田、妾はお前怨みます妾は死でも宜い身です三人の子供……あゝ私はその三人の子供も今ぢあ憎まれて來ました、神田ほんとにお前を恨みます』妙子はこんな事も切れ〳〵に吃いた。

妙子は何の

爲めに入院せねばならないのであらうそして愛すべき子供、信ずべき主人を忌み嫌ふ。人間は誰しも涙の壺を胸に秘めて人生の荒野を彷徨して居るものだ妙子の悲哀絶望の深くなりまさるにつれて病棟の外には夜が來ては星は輝き雪は降つた空は晴れたり。自然のみは唯幸福そふに月日を閲して居た。

京劇の

柿葺落

◇場内に漂ふ新しい木の香と名優の妙技に◇觀客は醉ふた

賞狀の授與

あり終つて式三番叟、引きぬきたんまり揃ひ〴〵と山賊の場は局松島連は山賊裂裝太郎の片岡我當修驗者光治貴は山賊夜叉五郎の嵐巖笑の三優出揃い劇場は既に新しい處へ歌舞伎の衣裳は特に今回の興行の爲めに新調したもの加ふるに役者は東京大阪合同の大名題歌舞伎一座のことゝて觀客はアット魅了されて

芝居見た儘

式三番叟が濟んで御目見得のだんまりの幕が明くと長唄連中の大薩摩▲淺黄の幕が落ちると福多三郎、藤弥、巖笑、松三郎、秀次郎、鷹成等が姫や武者修行になつて華々しく居並ぶ……

絢爛眩き計

りの引幕……

急告

最早冬物

メリヤス類各種品揃

特に格安品御提供

個數に制限あり

御仕入には御早い方が

御得策

京城南大門通り一丁目

瀨戸商店

電話二七一七番 振替京二四〇一番

父倍造ニ告グ

祖母こまつ儀永々病氣ノ處藥石効ナク大正十年八月一日午後九時三十分死去致サレ候

兵庫縣武庫郡御影町石屋

本木村方ニテ 木村忠一郎

三女英子儀病氣之處藥石無効八月八日午後七時半永眠致候間此段御通知申上候

追而來ル十一日午前九時自宅ニ於テ告別式相營可申乍略儀本廣告ヲ以テ御通知ニ代ヘ申候

水原勸業模範場

大正十年八月十日 父 橋本左五郎

奈良漬用酒粕

御用命願上候

極上等闡品賣出申候間

（搬代實費可申受候）

一貫目賣九十五錢

十貫目賣八圓五十錢

百貫目賣八十貳圓

外多數ハ特ニ御相談可申候

京城旭町

川西商店漬物部

電一三六七番

傳染病科（結核、梅毒、痳病、其他）

小兒科

中谷醫院

（喀痰、尿便、血液、細菌）檢査需に應ず

京城大和町三丁目 電話一〇三三番

各國染料ニス勉賣

大阪市北區下福島三丁目六八

虎白足洋行

山口染料商店

電話土佐堀四〇八番 振替大阪三七六九〇番

諸物品買次

食料日用諸雜貨其他一切を京城御出張にて御買次の要求に應ず但し手數料は五步以内、荷造は實費を申受く

鯨 買次業 香月商店

夏季用民羽も併て御用命の程願上候

京城明治町二 電話一九五三 振替四八一四六

七月廿四日掲載大阪株式取引所仲買人名中「瀧見千太郎」とあるは「龍見千太郎」の誤り取引代理人名中株榮會所屬の内吉川重三郎」とあるは「吉川正三」の誤りに付訂正す

懸賞附尋ね人

桑原梶雄照井上マスヨ

男年齡廿八歳位山口縣生七尺五寸位目ハヤブネラ工廠出身ノ大工職

女年齡廿一歳岡山縣生色白クセ々イ出目ハ少シ奥目

右六月八日逃走

其住所御通知下されし方には金壹百圓の賞金を呈します

京城新町天安驛前

料理店松乃家梶原

訂正八月七日掲載龍山水産株式會社第二十四回決算報告中記ノ通リ訂正ス

支出ノ部 合計一二、八三七、三九〇

利益金處分案 合計一三、三八五、六六〇

寛永御前試合

小金井芦洲講演

第五十五席

無『又左樣な事を云ひなさる、ごう云ふ譯だ　主『昨夜私妙な夢を見ましてございますごうもそれが氣に掛つていけません若しも御體に過ちでもございましては相成りませぬ何卒お出掛けを御止まり下さいまし　無『ハア何だ夢を見た　主『外では御座いませんが所は何れでありましたか夢の事故分りませぬが、[illegible]々かな流れがございまして其岸邊に私が參りますと向ふから一匹の羊が岸邊を驅て參りました時に風上に打倒れまして大木の柳に壓されて到頭羊は其儘に命を失ひましたと見ると目が覺めました夢とは言ひながら意外の分らん異な事でございます、と段々考へて見ると殊に有馬の温泉から御歸りの途中播州姫路へ御立寄りになりまして、佐々木剣刀齋岸柳と木下若狹守御前に於て、お父上と晴れの仕合をなされ是に打勝て大層な譽を博して御立歸りになりましたのは誠に結構な事でございます、此上もない名譽で御主君は固より家中一般の人々も喜び居りまするが、打敗ました岸柳は嘸かし殘念に思つて居りませう、聊を聞けば彼は武術修業のため姫路を退身したと云ふ事でございます、邪智に長たる剣刀齋自分の未熟に依つて打負けたとは思はず飽迄も父上を恨んで居らうと心得ます、流れの岸邊に柳が倒れて羊が是に壓されて相果てたと云ふは誠に不思議な夢で、岸の柳と言へば言はずと知れました岸柳お父上のお年は丁未の羊でございます、それ故何か間違ひでもありはせぬかと心も穩かでございません、故御止め申上ける次第で、何卒今宵御出での事は御見合せを願ひます　無『ハヽア主水、夢は掛けた事を言ひなさるな。夢は五臟の疲れと云つてお前は此頃病氣にて取分け神經が亢進つて居るに依つて詰まらぬ事まで氣を廻すけれどもそんな事はあるものでない、第一行事から廻章が參つた時に名前に鍵をかけて欠席に出席をすると云つてやつたので・行かんと云ふは一同の思惑も何うである、併しお前がそれ程心配を致すなら早く戻つて參らう、・・然行かんと云ふ譯には參らんから　主『左樣なればお父上早く御戻りを願ひたう存じます　無『お前も病中の事故夢を致さんやうにしなさいよ　主『有難う存じます』　蟲が知らすか何となく父の出行くを氣遣ひ其後姿を見送つて居ります、下男の重助を供に連れて立出ました太郎左衞門、出た事は出たが主水の言つた如く何か氣に掛り後髮を引れるやうな心持、氣を取直して其儘正安寺を指して出掛けて參ります、さうも其の晩の賑やかさ、吉岡先生がお出でさと云ふので大勢の者が手厚く待遇し、其中に酒が初まり無禮講の事で、各遠慮もなく飲者は飲み歩者は食ひ、大きな聲で雜談をする、中に吉岡は餘り酒を飲まんから住職の泰山と奥の一間で黑白の石を爭ひ一席終つて四ツ少々前、例もならば今宵は徹夜で若者を對手に色々語り合ふのであるが、出掛ける時に主水の言つた事もありますから、最早歸らうと太郎左衞門は別れを告げて一同の者が先づ〳〵と引止めるのも聞かず重助は提灯を持ち先に立つて正安寺を立出で丁度掛つて參りましたのは正安寺村の外れ土橋の所へ來ると、ビユーッと吹來る風に如何なる提みじあつたか重助の持つたる提灯がパッと消へた　重『ア、失策つた、ごうも飛んだ粗忽を致しました　無『オ、燈火が消へたか火打道具を持つて居らぬか　重『惜しい今日に限つて持つて參りませんので、誠に旦那樣恐れ入りましたが一寸御寺樣まで引き返して燈火を點けて參りますから暫時お待ち下さいまし　無『オ・さうしなさい、早く行つて來い　重『一寸行つて參ります』九月十三日の月であるから、提灯はなくとも歩くに差支ないが三千五百石の大身、身分のある故灯のあるないに拘らず無提灯で歩くと云ふ事は出來ません。

天下一品 京染 京城本町三 ゑにや

注射器各種
醫療器械材料
京城長橋町通
石井赤心堂
電話二三二八番

人蔘王
津村兄弟商會
京城本町壹・電話一四八〇番 一八七〇番

將棋新手合

第十局（三）

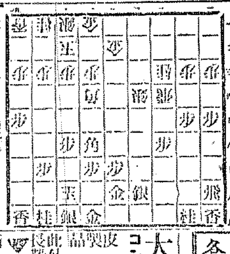
於撫順旭館將棋大會席上

▲七段　矢野逸郎（撫順）
△七段　溝口未光治（京城）

香相引

圖は前號指了の局面

▲持駒　溝口未氏　歩三



△五五銀▲七五角△三六飛▲六四角△同銀▲三七銀△七六飛▲七七歩△七五飛▲二二角△四五桂▲四六銀△二七角▲二八飛△四九角（ナル）▲六六角（ナル）

（以下次號）

八月十日

（舊暦七月七日）水曜日　▲乙巳　▲七赤

▼七赤▲贋物を摑まさる、手を出せば損すべく新しき事見合
▼八白▲諸事圓滿に解決する日大膽なる行動に出づるも利あり
▼九紫▲兎角落着きを缺き易く折角の好運を取逃す事あり戒愼
▼一白▲向上發展の日進むほど利得を占む共同的事業は殊更妙
▼二黑▲柔順にして有力な後援を得正直にして常業大繁昌の日
▼三碧▲徹の思ひ違ひから損失を招く日愼みの一字を守るが利
▼四綠▲痛し痒しの事に出遇ふ日なるも辛抱すれば結局に有利
▼五黄▲内外共順調諸願必ず成就すべく女子の獨立を圖るも妙
▼六白▲内能く納まれば外に進むべきものなし至極都合よき日

縮緬兵兒帶 一本只の一圓七拾錢

東京市日本橋區本石町一丁目綿絲問屋關谷商店にて本場縮緬兵兒帶の遠分賣を始めたが其製品は同店專屬工場の精製品なれば原糸に於て絞り模樣風に於て一點の申分なき保證品のみ也而も中巾八尺物一筋只の一圓七十錢中巾八尺物二圓三十錢特別製大巾一丈物三圓五十錢何れも珍らしく水色と兩面一個段にて尚又子縮緬絞り本製縮緬絞兵兒帶大巾一丈物破天荒の六圓五十錢本場縮緬兵兒帶特大巾珍絞り一丈物十圓五十錢山まる糸縮緬兵兒帶大巾一丈物三圓五十錢と云ふ節古未曾有の馬鹿に安い投賣す元來信用基本なる關谷商店の表示價は世間有觸れの廉價投賣とは性質を異にし眞實の格安品なれば希望の方は至急切れぬ内此の際今直に申込まるべし。（東京通信）

水車唐箕 製造販賣
京城本町二丁目 電話取次一四七
元祖 飯田工場

ヨクキク！
いんきん たむし 其他 皮膚病一切の靈藥
ひぜん水
大阪市外天下茶屋驛前北
本舖 田知本和三郎製
各藥店に販賣す 振替大阪二六八番

大暴落の中古靴
コンナ安値で完全に修理した品
皮製品 中古編上ゲ半靴
此外中古深ゴム靴二圓より長靴三圓より澤山取揃へて有ります
新品 大暴落の總ゴム靴
總ゴム靴特等二圓三十錢 番外一圓卅錢
靴類なら何でも取揃へて有ます 地方特約店募集
東京本鄕區眞砂町卅七 總本店
倉持靴問屋
電小石川五三六二 振替東京二一二九

金銀
地金商
德力本店
出張所
京城明治町一丁目五九番地
電話一五七二番

▲懸賞繪解募集

一、左の健胃固腸丸五ツの繪は腸胃の弱き人の常に起り易き下痢病、食傷、吐瀉、腹痛、寢冷等の病態を示したのである

二、解答は假令ば健の繪は腹痛とか胃の繪は下痢とか健胃固腸丸と五ツの病態を當て嵌めた方を正解者とす

三、締切期日 大正十年八月卅日限（地方は全日付スタンプ有効）

四、解答者は官製はがきにて一人一枚宛左の書式に依ること

健	何々
胃	何々
固	何々
腸	何々
丸	何々
本廣告ヲ見タル新聞名ヲ記スル欄	
解答者	住所 氏名

宛名は　大阪市東區伏見町二丁目堺筋角　健胃固腸丸本舖　谷回春堂懸賞係

▽審査は大正十年十月下旬新聞社員立會の上執行す
▽正解者には抽籤にて左の賞品を贈呈す
▽抽籤發表は同年十一月上旬發行の大阪朝日、朝日、兩新聞にて一等の當籤者に限り發表す
▽各等賞品は十一月中に發送す
▽本懸賞問題に關する照會に對しては一切返信不仕候

賞品

一等　貯蓄債券五圓一枚　五十名
二等　特製手提籃一個　百名
三等　特製鉛筆五本入一函　五百名

今盛に流行する
下痢、腹痛、吐瀉、
腸胃加答兒を速に治す
健胃固腸丸
定價 廿錢、卅錢、五拾錢、壹圓、貳圓、參圓、五圓、拾圓
▲小兒には專門の小兒固腸丸あり
各藥店にあり、面倒ならば本舖へ 名義に御注意あれ
商標
大阪 東京 谷回春堂

トリスウヰスキー
あまり多くの時と錢と下物とを要せずして快味を得らるゝ點 及び
頭痛誘引のフーゼルを含まざる點そこに生活改造の使命あるトリス
185
發賣元 祭原商店 大阪市東區安土町二丁目

小兒良藥
樋屋奇應丸
昔から名高い小兒藥の王
可愛お子達には是非
主効 かんむし、ひきつけ、はしか、れつさまし
大阪天滿橋 本家 樋屋合資會社製
到る處の藥店にあり

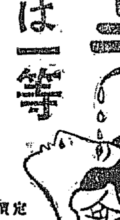
營業科目
電燈、電力、電氣工事設計請負監督
電氣機械材料、輸入販賣
發電機、電動機、變壓器、各種機械
計器、避雷針、修繕、試驗
川北扇風器、西鮮一手販賣
朝鮮平壤櫻町二番地
東洋電氣商事合資會社
電話長六一九番 振替口座京城四三一〇番
電略（トヨ）又（八ト）
工作部専用 電話七八九番
倉庫部専用 電話八七六番

精撰香油
お髮の美を增す
最も良き御髮油
本舖
大阪東區南久寶寺町四
關西發賣元 株式會社

子宮癌 胃がん 食道癌
心配無用良藥有り痛所の人は直に試みよ
兵庫縣明石市

商標 登錄
藤澤樟腦
土用干の後には
お衣裳でもお道具でもすべての御品は快晴の日に土用干を爲さる必要が御座います土用干後に藤澤樟腦をお入れにならぬと折角の土用干が無効になりますから此點特に御注意を願ひます
●種類 大形 中形 小形 碁石形
●各地藥店小間物化粧品店にて販賣せり
●値段下落戰前に大差なし今御購求好期
發賣元 大阪 東京 京城 藤澤友吉商店
●類似品夥し銘柄商標御注意を乞ふ

整腸消化劑
ビオフェルミン
BIOFERMIN
腸疾患治療及豫防劑
腸內腐敗制止、腸內澱粉消化、並に整腸作用を具備する本劑は腸加答兒、小兒夏季下痢、綠便並に赤痢、コレラ、腸窒扶斯等の傳染性腸疾患の治療並に豫防劑として奏効を確認せらる。其他又鼓腸、常習便秘、慢性腎臟炎、糖尿病等に對し奏効す。
粉末及錠劑あり、説明書郵呈……
（全國知名藥店にて販賣す）
製造元 神戸市二宮町 株式會社神戸衛生實驗所
發賣元 大阪市東區道修町 武田長兵衛商店
123



目藥アドラ
キメは一等
高峰博士發見世界眼科大醫稱讚の眼科靈藥アドリナリンを主藥とす
定價 廿錢、卅錢、五拾錢
（全國藥店にあり）
東京室町
泰昌製藥株式會社
振替東京二七五七七

純中ノ純 精中ノ精
猪印 のみとり粉
INSECT POWDER
商標 登錄
大阪 製造元 株式會社安住大藥房
蚤、南京蟲、油蟲の
最高級驅除藥

信託貸付週期 一萬株にて轉回

從來の例に徵するに信託會社の短期取引京取株に對する貸附は株數一萬前後を一轉回期として增減する狀態にし即ち一萬株迄は增加の傾向にあるも夫れ以上は增加せず寧ろ漸次減少の趨勢を辿れるが如し現在取組額も既に一萬一千九百株を算し居るを以て從來の例より見れば目先取組額の減少を見るにはあらざるかとの觀測をなす者あり而して京取株の昂騰に伴ひ貸附額も增加するを以て現在貸付額は百四十萬圓以上に上り居りて短期取引京取株取組の新記錄なりと

重要株式利廻

日本勸業銀行の調査に依る重要株式五十四種の八月一日現在總平均利廻は八分九毛にして前年同期に比して七分九厘七毛の減退なり尙大正元年以來の最高利廻たる昨年十月に比すれば一割一厘七毛の減退に當り最低利廻たる大正五年十一月に比すれば三分六厘六毛の增加に當れり又銀行會社別にすれば銀行十三行の平均利廻は六分五厘會社四十一社の平均利廻は八分六厘五毛なり

拂込金額增加

日本勸業銀行の調査に係る七月中の拂込金は一億三千五百二十萬五千二百四十九圓にて前月に比し一千百十三萬九千七百七十四圓の增加なり又一月以降累計は前年同期に比し七億八千八百六十一萬五百四十三圓減の七億三千三百六十九萬二千六百七十四圓なり

金組貸附方針

高橋金組理事長談

金融組合資金の融通に付ては殖產局ミ殖產銀行ミの協議の許に

大正十年度

金融組合に對し約九百廿萬圓の貸出をなし得る事となれるが其の中にて京畿道に割當られたる九十萬圓は金融聯合會に於て借入れ當聯合會から更に各村落組合に貸付けを爲す順序である其貸付方針は借入金九十萬圓に前貸出分を加へて一組合に對し

長期資金

金二萬圓之を組合預かり金及び出資金等を加へて約十萬圓の貸付を爲す方針にて夫々實行に取掛れり之れが爲め預金貸出共に增加すべき傾向となり今後四五年の後には村落金融組合に於ても

十五萬圓位の

貸出の出來る程度に發達せしむる方針なり今後更に金融組合を

增設して

賴母子講又は契に依りて融通せらるゝ金融をも金融組合に於て取扱ふ程度に進ませたき希望である

貸越利率据置

京城組合銀行に於ける當座貸越は預金利子引下に際して一三銀行中には手加減的に低下せんとの意向を抱くものあるも既に六月決定後比較的高率なりし向は一二厘方低下せる場合なるを以て當分現狀のまゝ据置かるべし

龍山建築現況

市中に於ける家屋建築は近年稀なる盛況を呈し其の本町警察署管內に於ける建築出願許可數は今春來六月迄に於て既に昨年同期の三倍餘をふべき多數に上れることは報せる如くなるが今龍山署管內に於ける狀況を觀るに今春以來七月に至る竣工屆出件數のもの新築百三十二棟修繕增築百六棟にして昨年同期間に比し增加著しきものあるのみならず今尙ほ工事中のもの尠からず加ふるに新龍山方面に於ける建築亦相當の盛況を呈し居れるを以てこれ等を合算するに於ては本町管內以上の增加を示すに至るべし因に練兵場に於ける全

鎖夏漫語

松崎時勉氏（朝鮮郵船專務）曰く今年の夏は何處へも旅行しない毎日會社に出勤して居ます會社に出勤して來客ご應接したり事務を見るのは實に愉快で其の間は暑さを忘れて居ます之が私の銷夏法です、海運界も歐洲向きが稍氣を持つて來ましたが無論朝鮮には云ふ程の影響は無い當分一時的の景氣であらう朝鮮海運界は內地の資本を引入れて工業を旺んにし農產物以外に年中平均された荷物の供給を受けるやうにならなければ眞の發達は望まれない

迄の落成家屋數は約六十棟百餘戶にして目下施工中のもの二十四棟約七十戶を算し今後尙ほ起工せらるべきもの尠からざるが如し左に參考の爲め龍山署管內に於ける昨年及一昨年の建築狀況を表示すること・せん

	八年 棟數	八年 坪數	九年 棟數	九年 坪數
新築	一〇一	一、五三一	一三一	二、三二〇
改築	一九	一五三	四一	一四九
增築	六六	二五五	二六	四四

移住民地價認可申請

本年四月土地の引渡を爲せる東拓第十一回移住民制第地讓渡價格は豫て同本店重役會議に附議中の所今回其承認を得たれば近く一件書類ミ共に其筋に認可申請を爲すべしミ云ふ

若松炭礦總會

若松炭礦會社は五日午後二時より三會堂に於て第七回定時總會を開催今期缺損金十九萬六千二百餘圓を前期繰越損金と合算せる二百萬餘圓を後期繰越

ご爲すの件及び定款變更（澤松出張所の廢止）の件を原案通り可決終いて監査役三名の滿期改選は本田讓二（重任）平川讓吉（重任）伊藤助太郞（新任）に當選決定散會せり

鮮銀券週報

七月卅一日より八月六日に至る朝鮮銀行券總平均發行高は一億四十六萬八千六百七十六圓にして內正貨準備發行平均高五千百卅八萬四千七百八十三圓保證準備發行平均高四千九百〇八萬三千八百九十三圓なり

物價低減協議

輸出協會貿易調査會

橫濱輸出協會貿易調査會の物價低減に關し實行容易ミ目さるゝ低減協議は七日正午より開會小峰、林、荻野、齋藤三氏の農商務省水野技師の調査に關する說明ありたる後隨時會に移り第二回輸出全國大會其他に關する協議をなしたるが來る十日午前十時より再び協議會を開き決定する事ごし午後三時散會したり

△勞銀引下げ△能率の增進△科學的知識の普及△公設市場の擴張△輸出長期信用方法の設置△諸稅の輕減

尙ほ勞銀の低下に關しては市內に於て加工業者其他各方面の反對漸く多きを以て先づ政府に對し生產費低減の建議をなす事ごせり

金融組合新築

平澤金融組合に於ては業務の隆盛に伴ひ現在の家屋にては狹隘且つ不便尠からざるを以て近く現家屋を拂下げ取壞しの上更に新事務所を新築することに決し近日工事に着手すべし

○京阪金利　六日現在左の如し

	東京	大阪
コール 無條件	‥	‥
翌日物	九〇	一五〇
六十日物	九五	一三五
手形割引步合	二三〇	二三〇

○日銀帳尻　七日現在左の如し

發行高	一、〇七六、六三一
正貨準備	一、〇七六、六三一
發行餘力	一二〇、〇〇〇
貸出高	六七、九五〇

金剛砂

▲或銀行の支配人は曰く今度の京取市場では儲けた話ばかり聞いて損した話を聞かんのは不思議だ▲多少に係はらず大膽の人は儲けて居る樣だ▲尤も大手筋の一人ミか云ふ小杉讓八君なぞは近來身體が非常に肥滿して袖ぎつて居る▲此れも相場で儲けた結果であらう▲或人の同君の身體を見ての曰くに貴君も溢血が出なければいゝがミ心配して居た▲成金ミ肥滿ミ腦溢血ミは全然無關係でもないミ小杉君も心配して居る▲京取市場へ出入する某株式好きの一人は近日自宅の庭で一厘錢を堀出したら乾隆通寶ミ刻してあつたので乾は天なり隆は高なり京取相場は大に高しミ自己流に解釋して大に買つて當つたミ云ふ話もある

株式（九日）

現株市場出來値

銘柄		前場 今週中	前場 來週中	後場 今週中	後場 來週中
京取	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京取	引	[illegible]			
仁取	寄	[illegible]			
仁取	引	[illegible]			
鮮銀	寄	[illegible]		[illegible]	
同新	寄	[illegible]		[illegible]	
殖銀	寄	[illegible]		[illegible]	
同新	寄	[illegible]		[illegible]	
實銀	寄	九八〇		九八〇	
商銀	寄	[illegible]		[illegible]	
同新	寄	[illegible]		[illegible]	
漢銀	寄	[illegible]		[illegible]	
同新	寄	一〇・六〇		一〇・六〇	
韓銀	寄	四〇・〇〇		四〇・〇〇	
東拓	寄	[illegible]		[illegible]	
同新	寄	[illegible]		[illegible]	
鮮土	寄	一五・〇〇		一四・八〇	
朝紡	寄	[illegible]		[illegible]	
滿毛	寄	[illegible]		[illegible]	
京電	寄	[illegible]		[illegible]	
同新	寄	[illegible]		[illegible]	
電興	寄	七・〇〇		七・八〇	
朝紙	寄	一九・〇〇		一八・〇〇	
朝郵	寄	[illegible]			
殖鐵	寄	一〇・〇〇		一〇・〇〇	
中鐵	寄	[illegible]		[illegible]	
滿鐵	寄	[illegible]		[illegible]	
同新	寄	[illegible]		[illegible]	
東亞	寄	‥		‥	
同新	寄	[illegible]		[illegible]	
鹽煙	寄	[illegible]		[illegible]	

乙の部

銘柄		前場	後場
信託	寄	[illegible]	[illegible]
安取	寄	[illegible]	[illegible]
大新	寄	[illegible]	[illegible]
上取	寄	[illegible]	[illegible]
新東	寄	[illegible]	[illegible]

短期取引

銘柄		前場	後場
京取	寄	[illegible]	[illegible]
仁取	寄	[illegible]	[illegible]
大新	寄	[illegible]	[illegible]
滿毛	寄	[illegible]	[illegible]
朝紡	寄	[illegible]	[illegible]
亞新	寄	[illegible]	[illegible]
拓新	寄	[illegible]	[illegible]

出來高　甲一萬四千四百八十枚　乙六千九百三十三枚　甲五千二百八十四枚　乙三千八百四十四枚　計一萬八千七百四十四枚　期一萬八千三百九十枚　計二十八萬六千三百二十枚

東京現株

銘柄	九日前場	八日後場
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
拓新	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東株	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東取	[illegible]	[illegible]
滿毛	[illegible]	[illegible]
東京	[illegible]	[illegible]
電燈	[illegible]	[illegible]

大阪株式

銘柄	九日前場寄付	八日後場大引
大株	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
上取	[illegible]	[illegible]

安東株式

	寄付	大引
○八日後場 安取當先	四八・〇〇 四七・〇〇	四七・〇〇 四七・六〇
○九日前場 安取當先	四五・六〇 四六・九〇	四六・二〇 四六・八〇

一齊暴騰 京取又驀進

前日來脫賀相場を氣構へて買氣集中した京取は今朝更に一段の熱氣を加へて群衆總買ひの場面となり短期百三十八圓さ三圓高に寄り跡週高を眺めて三十圓五十錢さ飛び更に二圓よ三圓さ進み四圓二十錢さ付けたが此邊利喰物に漸落步調を辿り二圓九十錢迄下押し再び三圓臺に盛り返して五七十錢處を採み四圓臺に跳ね上げしも此邊が氣勢の疲れ模樣に再び三圓臺にグレ込み

七圓八十錢

高　今週は三十二圓十錢ミ寄り跡四圓五十錢に躍進して昨引値より

十圓四十錢高

此邊を示したが利喰に二圓の週り三圓四十錢さ引け來週は三十七圓七十錢に寄つたが二圓五十錢を採みて伸び悩み結局四圓七十錢さ引け

六圓八十錢高

を示した

信託も猛騰

信託も從來の小額より云へば京取に劣らず增資含み居れる點に於て株數の少ない京取よりさされて居る前に物は絕對的… 今週百二十五圓四十錢ミ寄り三十圓…

…株界の理想値なりし五十圓の現出せんとす商狀となつたが引尻の氣味に乘ずるのボンヤリ…

騰し來週は三十五圓

ミ一氣十四圓方の上放れ

二圓ミ崩れ十一圓高に引け　だが百五十圓相場は京取より一步先走るものさ思はれて居る

大新色めく

久しく百三十圓より三四圓を往來して不景氣の商狀を辿つた大新は今朝の地より聽かり入れて短期三十四圓八十錢さ寄り跡五六圓より大引三十四圓さ品薄に來週は

値を百四十圓の新高

付け三十九圓ミ引け五六圓方の奔騰を演じた

仁取

十錢高今週九十一圓さ寄り二圓方引は短期百九十一圓さ寄り三圓さ引け三圓なり…

安取

は諸株高の人氣を受けて今週五十圓ドタ寄り跡五十錢よりより上乘せたが何處とく五十錢小節り五十錢ドタさ付け來週三十一圓九十錢さ寄り

三圓十錢

高　來週三十錢を高値に結局一圓九十錢さ付けた

三圓八十錢高

を示した

追證納入

京取信託安取の賣方は孰れも追證を徵せられた

株界片々

きの出來高を豫想しても多過ぎ……

主要株步ミ値段

（前場・後場の步ミ値段、京取・信託・安取・仁取・大新 ［illegible］）

短期取引

［illegible］

眼先氣迷ひ

現在の場面成行きより觀れば目先人氣の眼先一般安な氣構へ…

賣買差引殘

［illegible］

後場爆發

○九日前場
寄付 二八・一 ／ ○六日後場 二七・八九
［illegible］

▲第一節 大阪後場寄二十五圓七十錢…
▲第二節 先七十五錢より更に八十錢…
▲第三節 先八十九錢より九十九錢…

四十七丁の上放れに寄付

先八圓九十錢ミ

先九圓二十五錢

後場頑健

後場の京取は短期三十三圓五十錢ミ寄つて五圓の高値あり四圓二三十錢を採み今週四圓ミ寄つて五圓を見せ來週五圓九ミ寄つて七圓の高値あり六圓臺を採み大新短期四十圓五十錢今週四十二圓來週四十四圓四十錢の新高値に進み信託のみは今來週共二十九圓臺に下押した（以上一の廻り）

株式電報通信

京城明治町一丁目（私設專用電話架設）京城仁川間 朝鮮商業通信社 電話前・前後場・明治二六六番

米況（九日）

仁川期米 前場好勢

前日は天候の快晴、賣氣を裝ふれて二十七圓臺へ迫まれしも後場引際に至り天候の一變に伴ひ二十八圓臺…

▲二節　大阪前場三十四圓五十五錢…
▲三節　當限五十錢…
▲第四節　…

マバラ侮り難し

朝鮮米の出回り見込みマバラの…

京城正米

昨午後より今朝に亘り多少人氣緩和の模樣なりし地場正米も期米の好調に引き上げられ…

白米強含み

白米は各種米筋の原料手薄ミ先行きの騰念に買腰強く市中卸値は三十圓八十錢より一圓內外を唱へつゝある事が移出は依然商談杜絕の姿にて殆ど無氣力の狀態なり

米取界餘聞

人氣が買ひ過つて天候の快晴になつても亦此の通り居るのが…

定期大豆

昨後場は強氣の…

在米次第減

仁川穀物協會の調査に係る昨八日現在仁川六銀行の在米は玄米四斗入壹萬二千九百八十九叺五斗入四萬一千九百七十六石…

南大門廻穀

仁川玄米二二八〇叺▲黃州粟八〇〇叺▲鳥山大麥二〇叺▲同大豆四三〇叺▲同白米一〇〇叺▲宜川粟六〇叺▲同大麥一九七叺▲黃州粟四〇〇叺▲水原白米二七叺▲龍塞府小麥一六叺

仁川正米

定期の引緩りに手持筋益賣腰強く今朝は三等合格上物二十六圓六七十錢白米三十一圓十五錢見當にて前日より一二十錢高の氣配なり

釜山正米

今市場は一時賣方見送り氣配に軟弱を辿りて二三十錢安を示めしたるも大阪定期昂騰に賣方高唱へに轉りたる商內なかりしが精米筋移出筋の小口買の結果強保合さなり慶北三等穀十錢にて約一千四百叺の商內ありたり大豆は買氣なく一商內出來ざるも慶北大豆十四圓四十錢にて僅に五十叺の商內ありたり（九日）

群山正米

八月末限二十七圓五十錢九月中限二十八圓丁度同末限八圓〇五錢現物二十七圓丁度（九日）

大豆

賣見送りの氣配筋相變らず發安氣紅ひの外ないが今仁川着の十五圓二十錢處を持合狀に閑散なる者なり

仁川期米

吉金仲買店　仁川米豆取引所仲買人　電話長八三番八五番　長七六四番

大阪期米

	九日前場	九日後場
當寄	三三・一一	三三・七九
中寄	三三・一九	三四・〇三
先寄	三四・五六	三五・七〇
二節	・六六	
三節	・七四	
四節	・七八	
五節	・八〇	
六節	・七六	
七節	・八〇	
八節	・八八	
九節	・九〇	
止め	五一・〇	

有價證券現物賣買　坂倉仲買店　仁川米豆取引所仲買人　電話六五〇番　三五五番

兵庫期米

	九日前場	九日後場
寄付	三四・一〇	三五・〇八
止め	三四・五一	

下關期米

	九日前場 寄付	九日前場 止め	九日後場 寄付	九日後場 止め
當限	‥	‥	‥	‥
中限	‥	‥	‥	‥
先限	三三・七六	三三・六	‥	‥

東京期米

	九日前場先限	九日後場先限
寄付	三三・七四	三四・四九
二節	・七〇	
三節	・七〇	
四節	・八五	
合五節	・〇〇	
六節	・二七	

各地期米

八日後場止め			
東京	三三・六七	大阪	三四・一四
兵庫	三四・一八	下關	三三・七九
桑名	三三・八〇	名古屋	三四・一〇
熊本	三三・三五	金澤	三一・二五

大阪三品

	九日前場寄付	前場大引
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町　吉仲買店　長電話 …番

謹啓時下酷暑の折柄各位愈々御清穆之段大慶至極に奉存候陳者弊社儀每々格外の御引立を蒙り居候御陰を以て業務日に增し隆昌に相向ひ候事は全く各位御同情の餘慶ご難有深謝致居候此際業務擴張の目的を以て左記の所へ出張所を設置致し誠意を以て迅速忠實に御用相勤め可申候間何卒一層の御後援ご御厚情ごを賜り度此段々拜綣御挨拶懇願可申上候尙ほ近日中上書に御座候へども不取敢乍略儀以書面右御願旁々出張所披露まで如斯御座候　敬具

京城府南大門通三ノ二六
本社 株式會社 後藤風雲堂出張所
支店 東京市神田區淡路町一ノ一 大阪市東區南久寶寺町四丁目四十三

工事請負入札

一、松都面事務所及附屬建物新築工事並ニ敷地均シ基礎工事一切
一、入札保證金見積金額百分ノ五
右請負ニ附入札希望者ハ本面事務所ニ就キ請負人心得契約書圖面仕樣書等承合ノ上本月十日午前十一時入札スヘシ即時開札ス
但入札ハ松都面長松元粲ノ手許ニ差出スヘシ
大正十年八月七日　開城郡松都面

暑中御伺申上候
仁川濱町十九番地
杉本峰一

東京株式取引所仲買人
東京株式取引所現物賞
廣瀨大橋商店
定期賣買委托証據金は規定通りにて前受の事
營業案內 証據金表 株式日報 贈呈
東京市日本橋區南茅場町
電話濱町 長四三九番 長四六〇番 長六七〇番 長一七八〇番 長一八二九番 長二六九番 長四八九一番 長一九番
振替口座 東京三五五三番
（ヒ）又は（ヒロ）
電信略號 トウケイヒロ
日本電報略號 私書函 日本橋局第十八號

謹謝
東京株式取引所大正十年度上半期定期取引賣買手數料納入高ニ於テ全所屬仲買人約八十名中第六位ノ好成績ヲ以テ上記ノ如ク表彰ノ光榮ニ浴シ候ハ偏ニ各位ノ甚大ナル御援助ト格別ノ御引立ノ賜ト深ク感佩罷在候茲ニ謹テ御禮申上候　敬具
東京株式取引所仲買人
店主 廣瀨大橋

當る八月八日初日
藝題
式三番叟
一番 生寫朝顏日記 宇治川より大井川迄
二番 和田合戰女舞鶴 板額門破りの場
三番 鬼一法眼三略卷 菊畑の場
新築落成披露狂言
片岡我童
市川荒五郞
嵐巖笑
外百餘名
午後正三時開演
京城劇場 電話五七四

汽車時刻

大正十年六月一日改正